HARMAGEDON
幻魔大戦

「幻魔大戦」とは

映画と原作，そして音楽のジョイントで豪快な宣伝展開をくりひろげる角川映画〝初のアニメーション映画〟「幻魔大戦」は，今までにコミックと小説で５作品も発表されているシリーズの映画化だ。

今から15年前に，石森章太郎・平井和正共作で〝少年マガジン〟誌上に発表され「幻魔大戦」シリーズの基盤となったコミック版が１作目になるが，連載途中で打ち切られ中断されたままになっている。後に，同コンビで〝ＳＦマガジン〟誌上に新しいスタイルの漫画・劇画ノヴェルとして時代設定を江戸時代に移して「新・幻魔大戦」が発表された。しかし，これも完結をみていない。２者の共作はこの２作までで，その後は，それぞれ独自の「幻魔大戦」に挑むことになる…。

石森章太郎は〝月刊リュウ〟誌上に「幻魔大戦」を発表したが，前２作とは全く違ったオリジナルとなっている。

一方，平井和正は15年前のコミック版を完結させるべく小説化にふみきった。これが角川文庫版「幻魔大戦」で，現在までに第１期，全20巻を数えている。この作品と同時進行で舞台を現代に移した「真・幻魔大戦」を〝ＳＦアドベンチャー〟誌上に発表，この２作品ともに執筆が続けられる大河長編小説となっており，平井和正は「幻魔大戦」をライフワークとして意欲的に書き続けている。

ハルマゲドン（最終戦争）を描く「幻魔大戦」は，パラレルワールド化されているが，その根本には，善の意識体〝フロイ〟と悪の意識体〝幻魔〟の長い闘いを縦糸に，主人公・東丈ら登場人物を横糸に一貫したテーマが流れ，多種多様な世界が複雑にからみ合って織りなす一大抒事詩だ。

今回の映画化では，これら膨大な「幻魔大戦」シリーズの中から，シリーズの核となる角川文庫版「幻魔大戦」の１～３巻目（少年マガジン版を小説化した部分）を中心に，原作では60年代の設定になっているものを，83年・現代に置きかえての映画版「幻魔大戦」である。

製作は角川春樹と石森章太郎。監督に「銀河鉄道９９９」のりん・たろう。脚本に桂千穂と内藤誠。設定・脚本に真崎守。設定に丸山正雄。美術監督に椋尾篁。作画監督に野田卓雄。撮影監督に八巻磐。スペシャル・アニメーションに金田伊功。プロデューサーに明田川進。助監督に石崎すすむ。といった日本アニメーション界のベスト・メンバーを揃えたうえに，キャラクター・デザインに若手漫画家・大友克洋を迎え，リアリティーあふれる映像を創りあげた。

音楽監督には，イギリスから〈シンセサイザーの巨人〉キース・エマーソンを招き，音楽を青木望が担当。主題歌を「汚れた英雄」のローズマリー・バトラーが歌っている。

特筆すべきことは，原作の持ち味とテーマを描くために，もっとも無理のない表現手段としてアニメーション技術が選ばれたという事だろう。全てのパートにわたってドラマチックで臨場感たっぷりの新しい映像が完成した。

幻魔大戦

HARMAGEDON

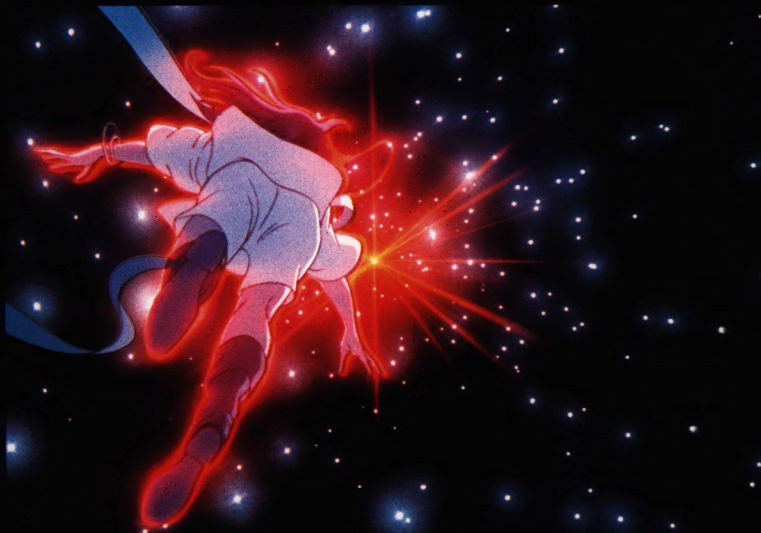
製作■角川春樹/石森章太郎

原作■平井和正/石森章太郎/監督■りん・たろう
（角川文庫版）

脚本■桂 千穂/内藤 誠/真崎 守/プロデューサー ■明田川 進

音楽監督■キース・エマーソン/主題歌「光の天使」唄・ローズマリー・バトラー（発売・キャニオン・レコード）

キャラクターデザイン ■大友克洋/設定■丸山正雄/真崎 守/作画監督■野田卓雄

美術監督■椋尾 篁/撮影監督■八巻 磐/スペシャルアニメーション ■金田伊功/助監督■石崎すすむ

カラー作品●4ch立体音響●ドルビー・ステレオ方式 DOLBY STEREO

株式会社角川春樹事務所作品 TOWA 東宝東和株式会社配給

STAFF MESSAG

「幻魔大戦」の映画製作にあたって

製作■角川春樹

Haruki Kadokawa

私がアニメーションの洗礼を受けたのは，ディズニーの一連の作品や日本の「白蛇伝」でしたが，一昨年の夏頃もちあがった平井和正さんの小説「幻魔大戦」の映画化を具体化するうちに，角川映画初のアニメーションに挑戦する事になりました。その理由というのは，私の中に鮮烈に焼きついている，石森章太郎さんがマンガで描かれたラスト・シーン。月がドクロに……という，あのイメージを表現するには，以前より暖めていたアニメーションだと直感したからです。インパクトがあり低年令層までメッセージが伝えられる最良の方法がアニメーション映画です。

製作にあたり，まず監督には，愛という大きなテーマを，独特なドラマトゥルギーを持ち，現代的な感覚で演出することが出来る，「銀河鉄道999」のりん・たろう氏を起用。声優のキャスティングは彼の感性が活かせるよう総てお願い致しました。今までのアニメーションとはひとひねり違った技法を「幻魔大戦」に吹き込んでくれることを期待して……。

キャラクターデザインには，ディズニーとは違った，新しい映像の密度を高めるために「気分はもう戦争」の大友克洋氏を起用しました。また，メインテーマ曲は教会の讃美歌のイメージを，しかも，シンセサイザーで表現したいと考え，映画「インフェルノ」の音楽で，その素晴らしいイマジネーションに共感を覚えていたキース・エマーソンを起用。彼はE，L＆P時代に讃美歌を一曲手懸けており，当初の狙いを見事に表現してくれました。更にヴォーカリストには，「汚れた英雄」のローズマリー・バトラーがあたっています。

アニメーションが市民権を得た現在，「幻魔大戦」という，全く新しい映像と音楽を世に送りだすことが出来たことを，スタッフを代表して関係各位の皆様方に深く感謝致します。「幻魔大戦」を通してアニメーション映画の未来図を少しでも多くの方々に感じて頂ければ幸いです。

第四種接近遭遇

監督■りん・たろう

Taro Rin

アニメーション映画「幻魔大戦」——それは，角川春樹氏との〝出遇い〟から始まった。

以前から付き合いのあった青二プロダクションの松本哲雄氏を介して角川春樹氏に会ったのは二年前，1981年8月のことである。「幻魔大戦」アニメ化の構想を語る氏の迸る気魄に，私は——出遇うべく人に遂に出遇ったナ——という予感が的中し昂奮していた。それは，プリンセス・ルナと東丈の出遇いにも似て鮮烈であった。

この〝出遇い〟が，まるでルナのテレパシー放送のように呼応し，真崎守が，丸山正雄が，椋尾篁が，野田卓雄が，八巻磐が，大友克洋が，そして更に大勢のスタッフが〝幻魔〟と闘うサイオニクス戦士のごとく馳参じてくれた。やがて開始された制作現場の熱気は日増しに脹れ上り，憑かれたようになだれ込んでいった。その状況下，私は改めて実感したのである——映画作りは，すべて〝出遇う〟ことから始まるのだ——と。

過去20年，あらゆるアニメーション製作に携わってきた私は，アニメーションも一人前の〝映画〟なのだと理解する共同の立場の人達と知り合ってきた。知り合うことで結集し，混沌とした現在のアニメ状況を突き抜ける時がやがて来るのではないだろうか，と密かに期待していた。

そしていま，この〝期待〟は熱気を孕み，角川春樹氏と〝出遇う〟ことによって結晶化し，角川映画初のアニメーション映画「幻魔大戦」を誕生させたのである。

〝出遇い〟から始まったこの映画は，観客一人一人と〝出遇う〟ことで完結する。

しかし——私たちの〝出遇い〟は，いま始まったばかりなのだ。

—1983・FEB・24記—

人類救済の熱い想いを

脚本■桂 千穂

Chiho Katsura

太平洋戦争の末期，アメリカ空軍の爆撃をのがれて，都会の児童たちは農村へ疎開させられた。

「幻魔大戦」の原作者平井和正さんも，そんな少年のひとりだったそうだ。

少年たちが疎開先の子供たちに手ひどくいじめられたことも，多かったらしい。平井さんの友達は，古井戸へ突き落されて溺死したという。

幼い感じやすい魂が，こんな事件を体験した場合，受ける恐怖とショックは，考えられないほど大きかったにちがいない。だってそうではないか。自分も同じ運命にいつ襲われるかわからないという不安と，緊張に，たえずさいなまされつづけ，対抗する手段は何ひとつないのだ。

人間は途方もなくおぞましい存在で，残酷無惨な生物だと信じるようになるのは，当然の成行きだろう。

だから，平井さんの嘗ての傑作アクションの数かず，「ウルフガイ・シリーズ」「死霊狩り」「サイボーグ・ブルース」などににじみ出ていた，人間に対する激怒はすざまじいものがあった。それは，ヒーローたちの殺戮描写の圧倒的な迫力となって，噴出した。敵役はゴキブリみたいにたたき潰されて，死んでいく。まるで，緑の地球の環境を破壊し，大気を果てしなく汚染する人類なんか，みな殺しにしてしまえ，といわんばかりの徹底ぶりだった。

ところが，このアニメーションの原作「幻魔大戦」となると，一味も二味もちがう。虫けらさながらに殲滅されていくのは人類で，スーパーヒーローの役を演ずるのは幻魔なのだ。そして，幻魔と必死に闘うのが，人間としての弱さを十二分に持つ，東丈ほかの超能力者の面めんだ。

平井作品の変貌の原因はなぜだろう。

氏は，人類への絶望的なまでの憎悪の果てに，それでもやはり破滅するままにほうってはおけない。何とか救済しなければ……そんな心境に達したのだろう。そして，その熱い想いを，人類代表・東丈やプリンセス・ルナの気持に托して訴えかけているようだ。

りん・たろう監督は，この平井原作の真情あふれるメッセージを，天性のシャープな感覚と華麗な技術で，みごとに私たちに伝えてくれた。荒あらしい人間的葛藤が，原作にくらべて薄められているのは，りん監督の心やさしさのなせるわざだろう。

ファンから脚本参加して

脚本■内藤 誠

Makoto Naito

まさか自分がその原作のアニメーション化に脚本参加することになるなどとは夢にも思わず，私はかつて平井和正「幻魔大戦」の初期丈(じょう)に関し，あるエッセーでわりと熱っぽく語ったことがあった。

その頃の東丈(あずまじょう)は憂愁をただよわせた美少年で，みずからの短身に極度の劣等感をもち，激しいアクションに走るとき，こうつぶやいたものだ。

「悪鬼の神に，自分の魂を売ってもいい。もし彼が，自分を巨大な存在に変えてくれるならば。おれは超人——巨大な存在となり，これまでおれを迫害した世界に復讐し，そして支配する……」

この真摯にして狂的な夢想に，たちまち日本の少年たちはとらえられてしまう。以来，角川文庫版二十巻におよぶ現在の地平まで，はるかな旅路を共にしてきたのだ。疎開世代の過酷な体験から念動力を想う平井和正と，戦後の「平和」のなかで育った少年たちとのあいだに，同じくサイコキネシスを発動させたいと念じる何かがあるのだろう。たしかに「幻魔大戦」は読物好きな少年たちが久しぶりにもったビルドゥングスロマンである。

ここには人間や他の生物だけではなく，サイボーグにも愛を注ぐやさしさがある。と同時に毒もたっぷり盛りこまれている。が，毒のない話なんて，少年少女たちの成長にとって無駄ではないか。彼らは否応なく機械と共存し，地球や宇宙の果てまで見透して生きなければならないのだから。

さて，私たちのオリジナル脚本が終ったところで，この過激なＳＦの世界を映像化する現場は，さぞすさまじい修羅場になったことだろう。いろんな葛藤もあったろう。しかし，それぞれの人が，それぞれの想いで「幻魔大戦」を読みこみ，壮大なスケールのアニメーション化に参加したのだ。

そして，いま，製作角川春樹，石森章太郎により，監督りん・たろうの華麗な指揮棒はみごとに振りきられた。「さよならにっぽん」という作品あたりから推測して，すごい冒険で魅力的だが，非アニメ的なのではないかと私の周辺でもささやかれていた大友克洋の絵が，実に妖しく動いて，まるでミヒャエル・エンデの魔的世界を旅していくようなサスペンスと楽しさに充ちていた。世界のアニメ映画史に新しい一頁をつけ加えたことになる。

戦士出誕・序史

脚本・設定■真崎 守

Mori Masaki

今さらしおらし気に，終末・滅亡ゴッコでもないしね。

地球が生まれて，46億年。その，シッポの先にも満たない眼クソほどの時間帯に居合わせた人類の文明史ってやつが，ちょっと過剰な思いあがりにトチ狂ったあげく，抜きさしならない程度には地球の存続をあやし気にさせてしまってるとしたところで，なにをあわてふためけばいい？

滅び道具も，滅びシステムも，滅び好きの指導者も，滅び稼業の教祖や業者も，付和雷同者も，ツケは支払わされるだろ。良し悪しに関係ない。滅びも，ただ必然。

シだからって，やさしい逃避口をつくっておけるといいんだけど，今じゃフィクションだって，ニコニコしながら，現実と虚構の境界をあやふやにしきる手口なんか，すっかり，モノにしちゃってるからね。も，気づかないフリすんの，やめれば？　なんて切り返して遊んじゃう。

極楽も地獄も，ぜんぶこの世の現実だったよな。神とか仏とか悪魔とかって，ぜんぶ自分の現実だったよな。

フロイや幻魔の正体ってなんだろなんて，カマトトぶって聞かないで欲しいよね。超能力者たちが，自分とはまったく無縁かどうかなんてこと，自分でよく確かめもしないで結論つけて，ごまかされたくもないよな。

——どれほどひとに聞いたって，判らないことだよね。自分に聞きこんで確かめていく以外，この世に，どんな答もありはしないんだから。

ぼくが，原作の『幻魔大戦』でいちばん興味を持ったのは，'60年代の滅亡指向から'80年代の光のネットワークに至る，ベクトルそのものなんだと思える。膨大な量の原作の中から，どうしてもやらなきゃいけないのは，そのベクトルを，２時間10分に圧縮していくってことじゃないかというふうな作業をつづけたことになる。

いろんな人が，いろんなことを云うだろうと思う。ぼくも，ひとことだけ，聞いてみたい。

「——なるほど。で，あんたの，〝内なる光の戦士〟，いま，どうしてます？」

答を，ぼくに云わないで欲しい。

（'83・２）

映画は映画

原作・製作■石森章太郎

Shotaro Ishimori

小説とマンガは，その呼称の異いそのまま，表現のスタイルがまったく異なります。

マンガと映画もまた，然りです。

アニメーションは，むかし漫画映画，あるいは動画と訳されていました。このマンガ映画でさえも，マンガ――二次元紙面のそれとは，明らかに異うのです。

スクリーンはタテ，紙面はヨコにして，観る，というだけのことではありません。

動きがある，音がついてない，そんな異いだけのことでもありません。

一人（あるいは少人数）で描く，多勢でつくる，その異いでもないのです。

表現媒体そのものの存り方が，根本的に異っているのです。

これまで，ボクのマンガも数十本，アニメやライヴのフィルムになりました。

初めの頃，試写室でそのフィルムを観せられると，異う，これはボクの〝作品〟じゃない，と叫んだものでした。（勿論，気が弱いから心の中で，ですが……）。

もっと〝原作に忠実に――！〟が，幾らやっても，何度やっても，そのギャップは縮まりませんでした。

だから，頂戴する原作料は，〝原作汚し料〟だ，などとフテクサレタこともありました。

でも，実は，ボクのこの考えは，間違っていた訳です。

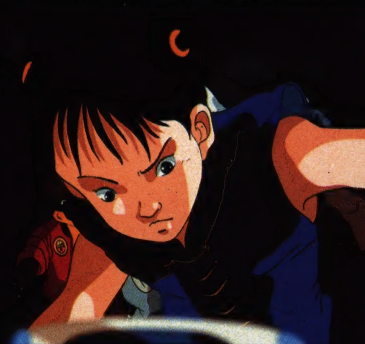
紙とフィルム，その表現方法は，天と地程に異っているのです。

しかし，とはいうものの，映画は，フィルムによる表現形式は，例えば，音と動きがある，というそのことだけでも，他のジャンルよりは利点です。誰かが，総合芸術と言いましたが，その通りです。その利を生かして，小説やマンガの〝原作〟を越えた，独自の作品でなければいけません。

16年前，「少年マガジン」誌上で，平井和正氏と共作したマンガ版「幻魔大戦」と，後年平井氏がノヴェライズした「幻魔大戦」を読〝観〟比べて下されば，ボクの言いたい事はわかって頂けると思います。

このアニメ「幻魔大戦」と，マンガ，あるいは小説「幻魔大戦」を比較して頂いても，それは同じです。

監督りん・たろう氏は，その辺の〝異い〟を，良く知っている〝映画作家〟だと思っています。

〝原作〟は忘れて，アニメ版「幻魔大戦」を十分にお楽しみ下さい。

ハルマゲドンの予告

原作■平井和正
Kazumasa Hirai

アニメーション映画「幻魔大戦」について，私がことさらに述べるべき内容はきわめて少ない。何しろまだ試写を見ていないのだ。

しかし，映画の音楽監督をやったキース・エマーソンについてなら，幾らでも絶讃の言葉を吐くことができる。文字通り大作の風格を持つ堂々たる作品であり，一聴してうん，と唸った。痺れた。映画史上に残る名画と呼ばれる作品は，不思議に忘れえぬ素晴らしいスクリーンミュージックに恵まれる，そんなジンクスがあるものだが，キースの音楽はそうした戦慄を私に与えた。

これだけの優れた音楽に恵まれたからには，映画「幻魔大戦」は単なる「大作」に留まることなく，名作映画の仲間入りをするのではないか，と鋭い予感が胸を掠めた。

是非ともそのジンクスが事実となって現れることを祈るばかりである。製作スタッフはびっくりするほど優秀な人材で溢れており，門外漢の私の目からしても愚作ができる要素は一つもない。これまでのアニメーション映画が備えていた一種マニアックな臭みを払底させるだけの可能性にみちているといってもよいのではないか。一つのジャンルが，マニアの独占物を脱して普遍性を獲得するには，よほどの力量が要求されるものである。まっしぐらに突き抜けて行く白熱したエナージーが必要なのだ。私の専門領域であるＳＦの場合にも同じことが言えた。それは悪女の深情けを振り切る気力を要求される。マニアの功罪は別問題として，文化の潮流となるためにはどうしても受けねばならぬ洗礼なのである。

ともあれ，キースの音楽によって興奮し，インスパイアーされた私は小説「幻魔大戦」に新たな意欲を燃やしている。優れた音楽はまるで魔法に似ている。私がもし視覚的に不自由な人間であったとしても，キースの映画音楽によって新鮮な幻魔宇宙を築きあげようとするに違いない。キースの裡から迸る白熱したものが，私に共鳴をもたらしたのだ。

「幻魔大戦」はハルマゲドン――すなわちこの世の最後の善と悪の戦い――の物語である。原作小説は１万５千枚を超え，更に拡大しつつある。映画はその一角を切り取ったものにすぎない，とお断りしておく。原作においては，ハルマゲドンはただ地球上だけに留まらない。超過去から超未来に渡り，数多くのハルマゲドンが繰り返され，救世主と反・救世主の戦いが続いている。

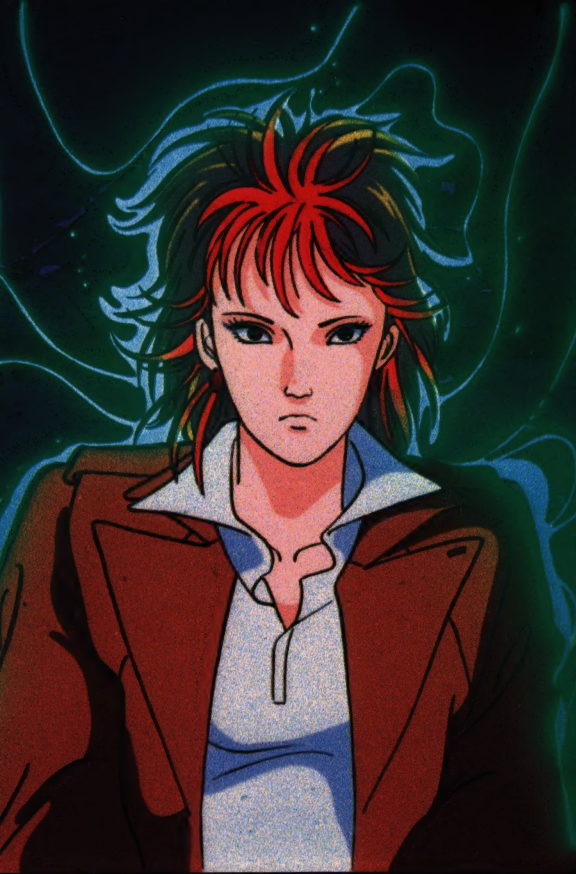
それゆえ「幻魔大戦」は，この物質宇宙に留まらず高次元宇宙にもまたがり，転生輪廻についても語り続けている。主人公の東丈は過去，無数に幻魔と戦ってきたのである。東丈はかつては太陽のアポロであり，役行者小角であり，その他の偉大な〝力〟を持つ覚者でもあった。超絶した宇宙的な〝力〟を常に及ぼしてきた存在なのである。幻魔宇宙は限りなく広く深い。それは宇宙に於ける生命体の歴史そのものなのだ。

「幻魔大戦」について自己ＰＲを許されるならば，かつて誰も書いたことがなく，挑戦されたためしもない物語になるということだけは明言できるだろう。

第一期幻魔大戦は全20巻をもって終結したが，第二期幻魔大戦は「ハルマゲドン・シリーズ」と名付けられて間もなく発足する。この両シリーズで，救世主と反・救世主との光と闇の相克を描き，他方の真幻魔大戦シリーズにおいて，超過去から超未来にわたり展開されるハルマゲドンを物語って行くつもりである。

けれどもハルマゲドンとは，決して空想的なものではなく，どこかよその世界で展開される破滅物語でもなく，常住坐臥，我々の内宇宙でも繰り広げられる光と闇の相克であることを，憶えておいていただきたい。数十億人のハルマゲドンが集中固定化した時，巨大なハルマゲドンは内宇宙を出て，現実のうちに現象化して行く。

それはたとえば，この映画において警告されるような地質的大変動の形態を取ることになるかもしれない。あるいは核戦争の悪夢の具象化として現れるかもしれない。

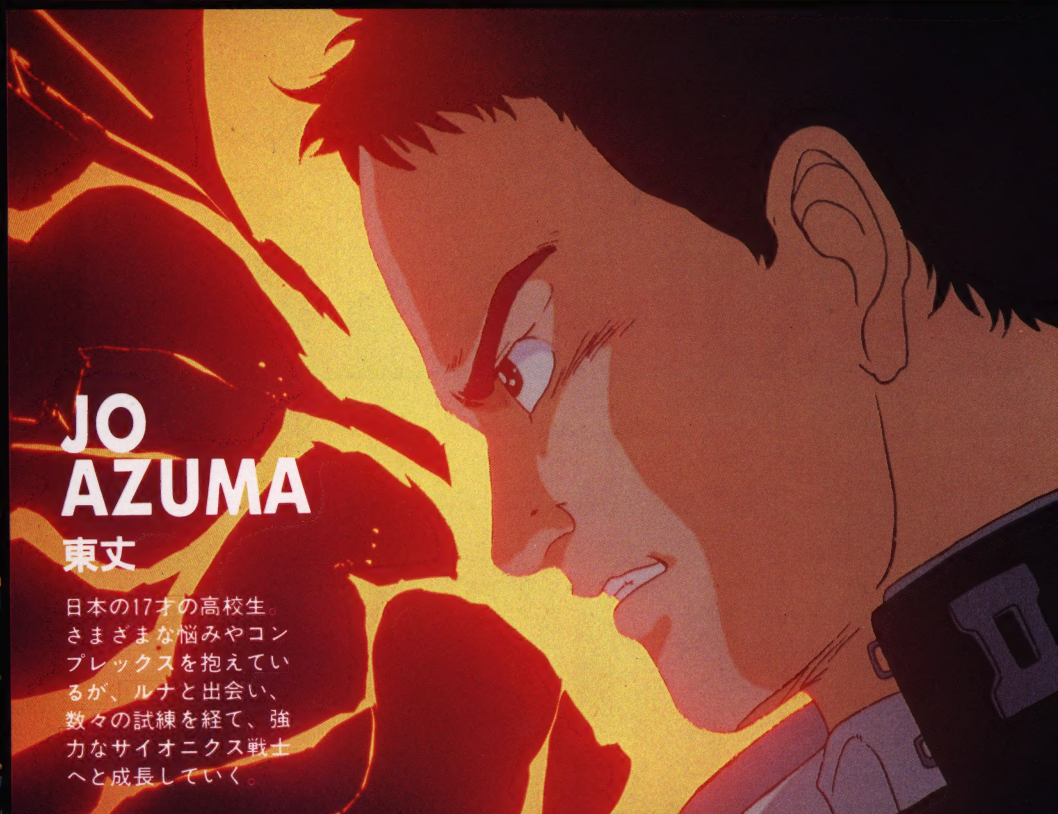
いずれにせよ，各人の小さな「ハルマゲドン」はもはや始まっているのである。あなた自身の「ハルマゲドン」がやがて自分自身の内宇宙を超えて，他者のそれと合流し，現実世界を舞台となし，大きく育って行く。ちっぽけな龍の落し子が，いつか巨大な悪竜として成長して行く悪夢が，現象化されることになる。「幻魔大戦」とは，その小さな内宇宙についての物語でもあるのだ。

PRINCESS LUNA

ルナ姫

トランシルバニア王国の第１王女。テレパシストの16才の少女。フロイから伝えられたヴィジョンによって「幻魔」の存在を知り、地球のサイオニクス戦士の核となって闘う。ルナにとって「幻魔」との闘いは自身の内にある。偏見や迷いとの闘いでもある。

WARRIOR VEGA

サイボーグ戦士ベガ

かつて宇宙の彼方で「幻魔」と戦った兵士 恋人アリエータの死と共に、戦意を失い敗残兵となって 2.000年の眠りについた 今再び目覚めたベガはルナたちと共に戦場に向かう

JO AZUMA

東丈

日本の17才の高校生。さまざまな悩みやコンプレックスを抱えているが、ルナと出会い、数々の試練を経て、強力なサイオニクス戦士へと成長していく。

STORY DIGEST 1
プリンセス・ルナ

トランシルバニア王国の第一王女プリンセス・ルナは，アメリカ訪問の機上にあった。ルナの膝の上では水晶球が，不思議な予知ヴィジョンを映していた。この機が墜落する！

その直後，隕石がジェット・ライナーに激突した。空中に放り出され，落下を続けるルナの体を，輝く光が包み込んだ。するとルナの意識は肉体を離れ，はるか彼方の見知らぬ宇宙空間へとテレポートしていた。

ルナに呼びかける声があった。フロイと名乗るその声は，ルナをあたたかいやすらぎの力(エナジー)で満たした。フロイは宇宙意識のエネルギー生命だった。「サイオニクスは，信頼によって覚醒し，愛によってその力を得る」そう伝えると，フロイはルナに，幻魔のヴィジョンを見せた。幻魔とは，破壊のために破壊を続ける狂暴なエネルギー生命，

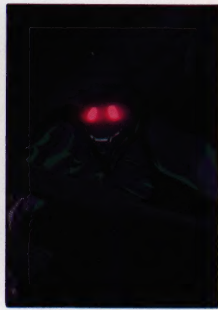
大宇宙の破壊者だった。わずか十億年の間に無数の星雲・島宇宙が，幻魔の手によって消滅していた。その幻魔が，今，地球の属する銀河系へ手をのばし始めていた。

フロイの記憶にある戦いの一つをルナは見た。二百年の間幻魔と戦い，恋人・アリエータの死と共に敗戦の兵となったサイボーグ戦士ベガ。致命カプセルの中で２千年の眠りについているベガが，地球に向かっている。ルナの機に激突した隕石こそベガのカプセルだった。

ルナの意識は，落下する肉体と合一した。

白熱するオーラが，ルナの命を救った。サイオニクス戦士ルナの誕生した瞬間であった。ルナは，ベガを永い眠りから目覚めさせると，決然と，幻魔との戦いに立ち上った。

ソニー・リンクス
サイオニクス戦士。テレポート能力を持つギャング団のボス。

東三千子
27歳。丈を深く愛する母代りの姉。丈が何よりも愛し頼りにする。

ザメディ
幻魔。オライリー署長をのっとり，ソニーを捕える。

タオ
サイオニクス戦士。香港のクンフーの達人。未来予知能力を持つ。

女占星術師
幻魔の到来を予感し，破滅を予言する。

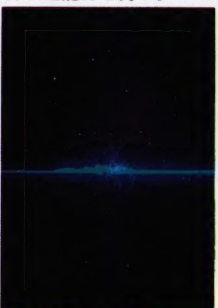
ザンビ
幻魔。淳子や巡査に憑いて丈を襲撃する。

ヨーギン
ヒマラヤに住む老人。サイオニクス戦士。

江田四郎
丈の友人。丈に嫉妬し幻魔カフーにつけこまれていく。

カフー
幻魔。地球壊滅作戦最高司令官にあたり，強力な超能力を持つ。

アサンシ
アラビア遊牧民の青年。サイオニクス戦士。丈の力の開発を助ける。

沢川淳子
丈の恋人。一度は丈と別れるが，ザンビに憑依され，丈を襲う。

幻魔大王
大宇宙を破壊する強大な負のエネルギー。ヴィジョンのみ登場する。

サラマンダー
インディアンのサイオニクス戦士。

アリエータ
ベガの恋人。テレパシスト。幻魔に殺され，ベガは戦意を失なう。

フロイ
宇宙意識のエネルギー生命。幻魔との戦いにルナたちを導いていく。

2 丈の目覚め

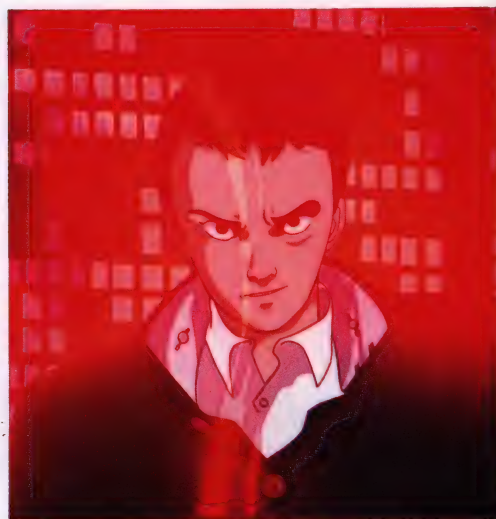
東丈はムシャクシャしていた。野球部のレギュラーになれなかったからだ。恋人の沢川淳子との仲もうまくいかない。丈は，あてどもなく新宿の街をうろついていた。

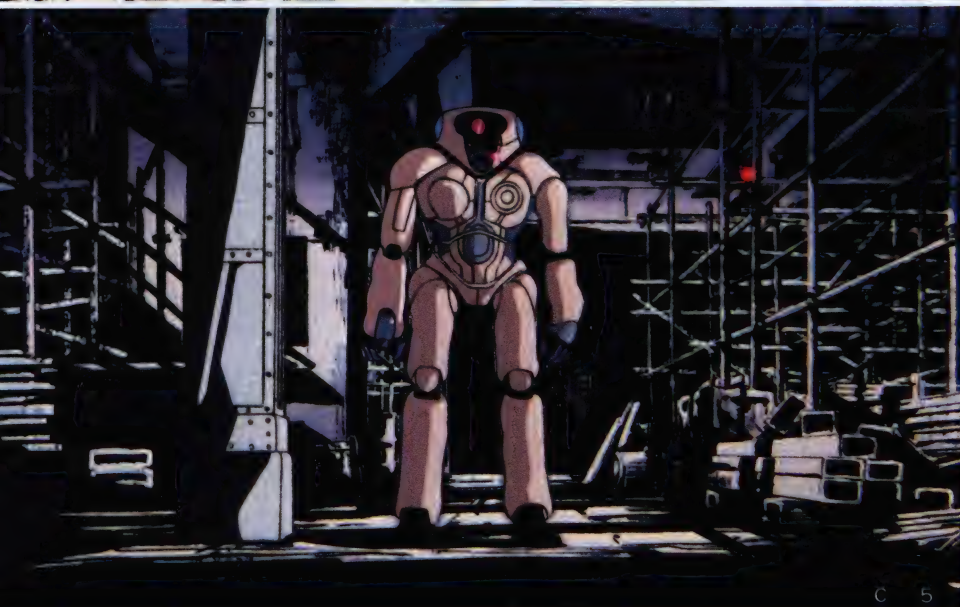
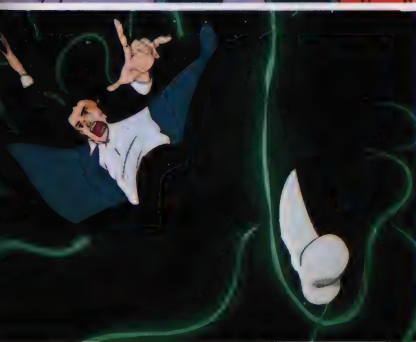
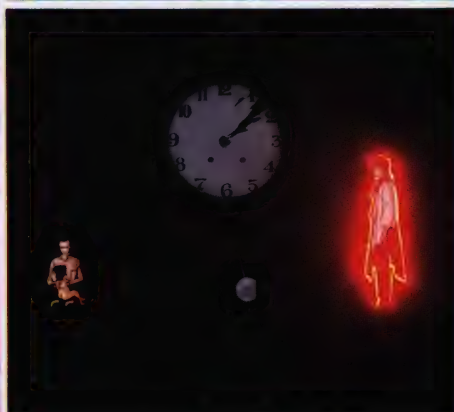
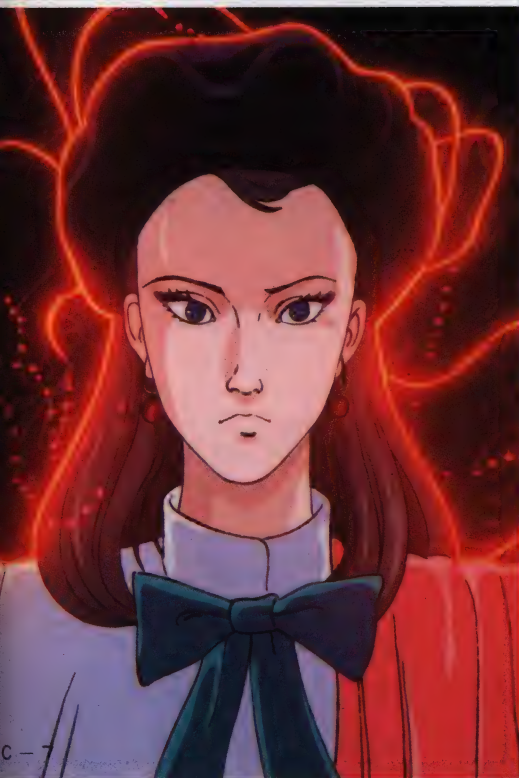
と，闇の中から丈を襲って来る異様な影があった。ベガである。ベガの発射する光線はいく度も丈の胸を貫いた。助けを求めても，街の人間は石化したように動かない。追いつめられ，錯乱した丈は，ビル建築現場へと逃げこんだ。だが，そこは袋のネズミ，逃げ道はない。ベガはじりじりと近づいて来る。

突如，丈の体からすさまじいオーラが発した。丈に潜在していた「力」がこの危機によって目覚めたのだ。丈はベガに向けて「力」を解き放った。崩れた鉄骨，石の破片，瓦礫がベガに襲いかかる。超ド級の念動力だ。

夢か？と丈は疑った。夢ではない。丈は，この新しい「力」に陶然となった。

だが，「力」は丈に孤独をも，もたらした。友人の江田四郎に，軽く「力」を使ったら，江田は超能力を否定する言葉と共に，丈に絶交をいいわたした。

ルナとベガは，そんな丈を験(ため)すことにした。ルナの映像をテレパシーで丈に送り込む。突然のルナの出現に，恐怖に駆られた丈は，窓から空中にとびだした。マッハ1.2のスピードで丈は夜空を突っ切っていく。それを追うベガとルナ。ルナは丈にさらにテレパシーを送った。フロイに知らされたありのままを丈の心の中に再現したのだ。星々を破壊する幻魔のヴィジョン。丈は猛烈な闘志で，幻魔のヴィジョンに立ち向かった。だが，幻魔のショックは強力すぎた。幻魔に敗れたと思い込んだ丈は，心の深層に逃げこんでしまった。そこでは，幼児になった丈を，姉の三千子がやさしくあやしてくれている。

ルナは丈の深層意識の中に入っていった。丈を立ち直らせようとするルナの厳しい言葉に，丈はついに，ルナに手を差し伸ばした。二人のオーラが合流し，美しく，光る。

疲れ眠るルナを腕にベガが丈に告げた。「ルナは君を失うわけにいかないといった。失えないものがあることに気づいた者だけが，戦士に生まれるんだ」と。

3
幻魔，侵攻開始

丈たちが飛び去った後，古い山門の影にうごめく怪しい物がいた。ザンビとザメディ——幻魔の地球侵攻の先兵である。２人は口汚なくののしり合いながら，丈やルナたちを狩りに出発していった……。

数日後，丈は淳子の家を訪ねた。淳子は，以前とはうって変わって，丈をやさしく迎えた。そればかりか，挑発的な仕種で，丈を誘おうとさえする。２人の唇が近づいた。と，丈は異様な匂いを感じた。淳子の眼が怪しく光っている。幻魔ザンビが，淳子に憑依して，丈を襲って来たのだ。

ピアノが，仮面が，斧，剣が，ザンビにあやつられて，丈めがけて飛んでくる。丈は「力」を全開にした。瞬間，沢川邸は空高く吹きとばされていた。

危地を脱したものの丈の心は重かった。人を殺したのかもしれない。そう思うと激しく落ち込んでいく。

そんな丈を励ましたのは，やはり，姉，三千子だった。子供時代の思い出深い遊園地で，丈は三千子に何もかも語って聞かせた。人気のない深夜の豊島園に明りが灯り，乗り物が動き出す。丈の「力」のなせる技だった。

三千子は丈の話を落ち着いて受けとめ，丈を勇気づけた。

——忘れないでほしい……あなたを支えるのは，愛だけなのよ。姉さん，いつだって丈を護ってあげる。

三千子の言葉に丈は明るさを取り戻した。丈は三千子の手を握ると，夜の空をすべるように飛行し始めた。

深く透明な光の中を、丈と三千子は舞うように飛んでいく……。

＊　＊

一方幻魔の手は，ニューヨークにものびて来ていた。激しい嵐がニューヨークを襲った。自由の女神は稲妻にひび割れ，ハドソン河は洪水となって市街に押し寄せた。次々と高層ビルがくずれていく。

破壊されたマンハッタンを，軽快にローラー・スケートですべっていく黒人の少年がいた。ソニー・リンクス，テレポーテーション能力を持ち，悪魔小僧と呼ばれる，リンクス・ギャングのボスである。このドサクサに一稼ぎしようというのだ。

だが，いつもと様子が違っている。不吉な気配を感じたソニーに，不意に

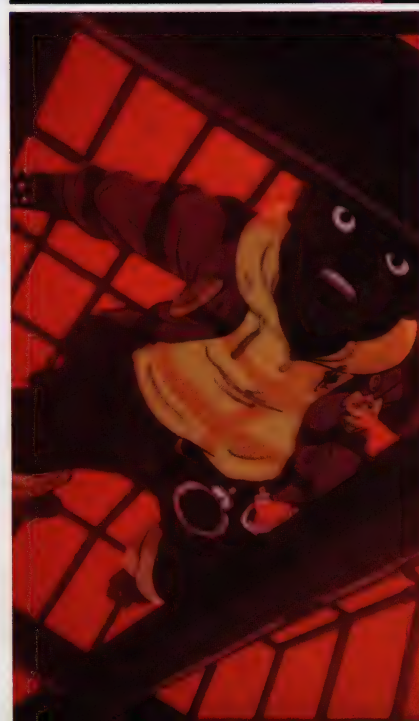
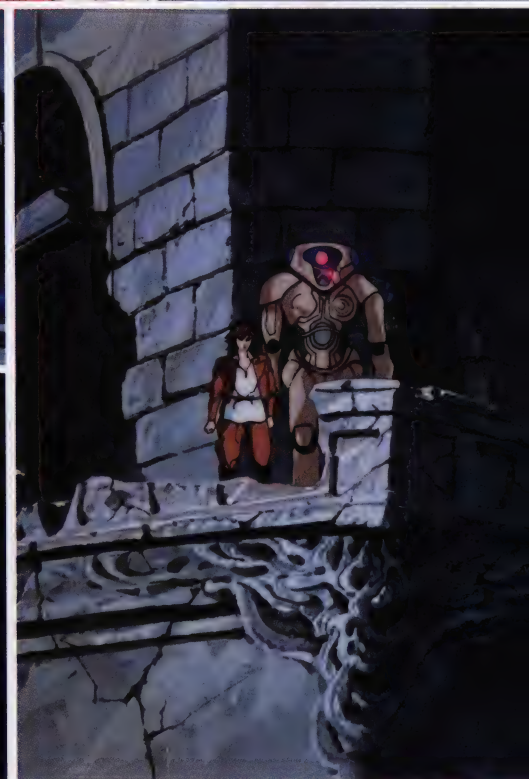
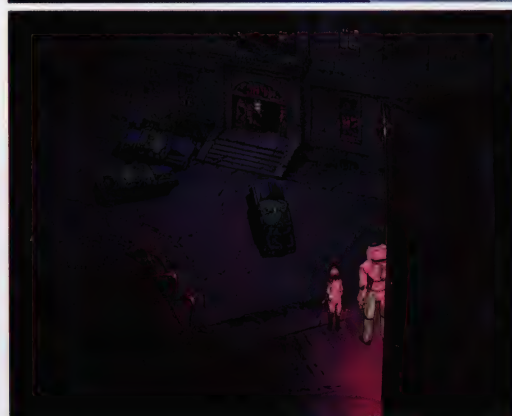
声が届く。「逃げて！ソニー」ルナの声だ。だが，遅すぎた。ギャング団の集まった宝石店の前は，オライリー署長ひきいる警官隊に包囲されていた。

警官隊の容赦ない一斉射撃に，リンクス・ギャングたちは次々に倒れていく。そしてソニーも，オライリーの手によって捕えられてしまった。

ルナはためらっていた。サイオニクス戦士として探し求めていたソニーに，テレパシーを送るのに，気遅れを感じていた。黒人で，ギャングで……ルナの中にある偏見が，心を開くのに妨げとなっていた。

ソニーは檻の中に閉じ込められていた。ただの檻ではない。特殊バリヤーのエネルギー・ボールに封じ込められた，壁抜けの出来ない檻だった。驚くソニーに，オライリーは自分の正体を現わした。幻魔ザメディ，署長を乗っとり，ソニーを囮にエスパー狩りをたくらんでいたのだ。

ソニーが暴れる度に，エネルギー・ボールは巨大化していった。周囲の波動を吸収し，憎しみのエネルギーでふくらんだボールは，ついに，警察の建物を破壊し，真っ赤に発光して，街へころがり出した。ビル街は，炎と爆発の海と化した。ルナは，全世界のサイオニクサーに向けて，テレパシー放送を発した。

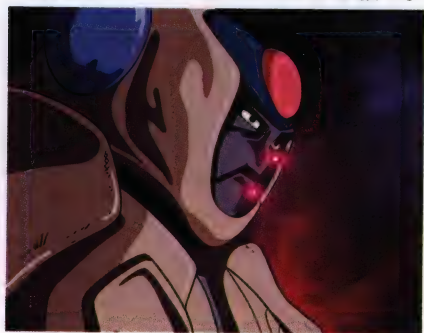
幻魔襲来！パニック!!

4
ニューヨーク壊滅

ルナのテレパシー放送をキャッチしたのは，5人のサイオニクサーだった。北米のサラマンダー，サウジ・アラビアのアサンシ，ヒマラヤ・ネパールのヨーギン，香港のタオ，そして東京の東丈。丈は，すぐさまニューヨークへ向けて全速で飛びたった。

ソニーを呑みこんだまま，エネルギーボールは巨大化していった。ヘリや戦車の攻撃も，効果がなく，次々と押しつぶされては，爆発炎上する。

今，ベガは一人でエネルギー・ボールに立ち向かおうとしていた。ソニーとの交信をためらい続けるルナを，後に残して，ベガはまっすぐに歩を進めていく。ベガの姿にルナは，ついにソニーの心と接触した。

ベガは突進した。60万度の光熱線シャワーがザメディのボールに炸烈する。だが，ボールは光熱線をはね返しながら，ルナめがけて進んでいく。はね返された光熱線がルナに降りそそぐ。一瞬，サイコキネシス・バリアーがルナを包んだ。丈が到着したのだ。丈はルナをベガの元へ転送した。だが，そのスキをついて，ザメディの触手光線がルナとベガにからみついた。

捕えられながらルナは，丈に指示を出し続けた。眼のような所を破壊して！丈が巨大なアンテナをボールに突き刺す。ベガがそれにパルスを放つ。

すかさずソニーが脱出した。しかし，ソニーはおびえきって，一人戦場を離脱していった。

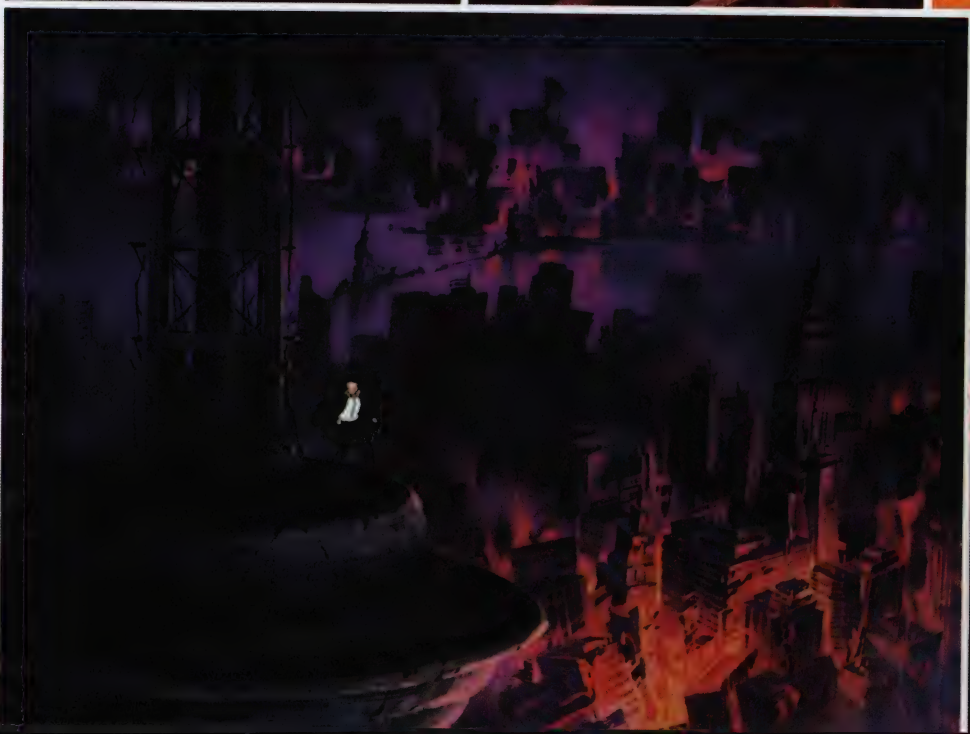
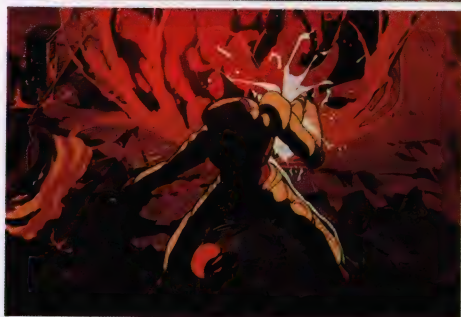
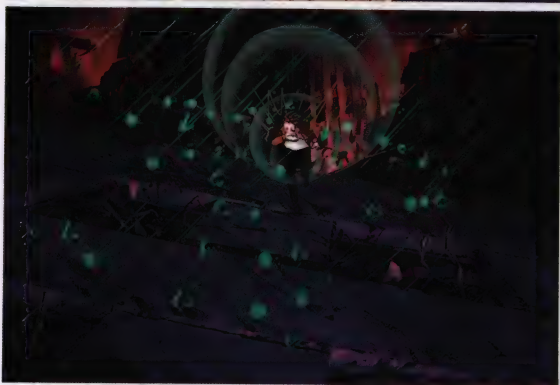
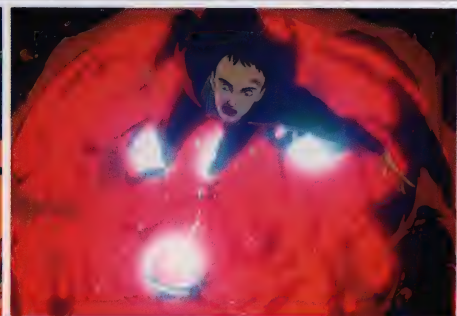
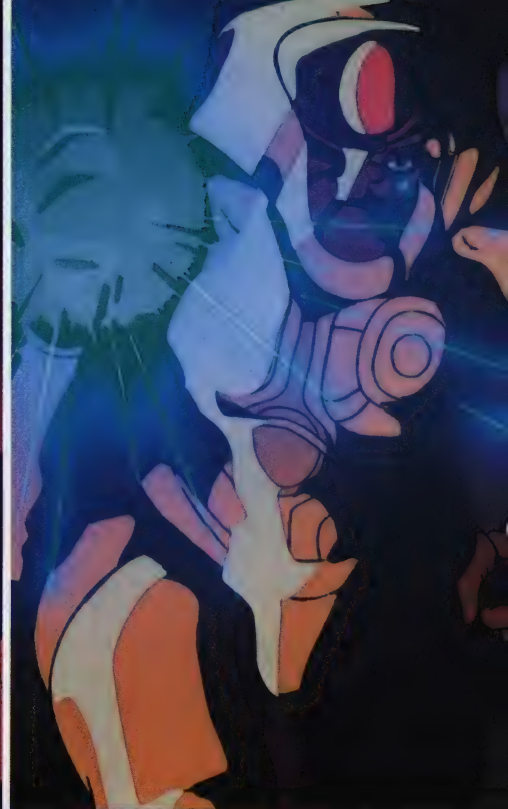
——戦士は誇りを失くしたら死んだも同じじゃ。

駈けつけたヨーギンに諭され，ソニーは戦いの場に戻った。ルナとベガをテレポートする。

ニューヨークの空を5人の戦士が飛ぶ。ソニーがボールの一部をテレポートし孔をあける。丈が孔を固定する。そしてベガが空中震動波を放射した！

壮絶な音と光跡を放ってエネルギー・ボールは破裂し，異次元へ転送された。だが「本体は地上に残っている」サラマンダーが警告した。弱りながらもザメディは日本へ飛び去っていった。

「姉さんが，危ない！」

丈の胸に不安が走った。

5
三千子の最期

東京は激しい砂嵐に見舞われていた。至る所，砂におおわれ，街はゴースト・タウンと化していた。

三千子は一人，丈の帰りを待っていた。町内の人々はすべて避難していなくなっている。巡査が訪ねて来た。いや，巡査に化けた幻魔ザンビだ。正体を現わしたザンビは三千子に襲いかかった。三千子に憑依して丈を仕止める気なのだ。ザメディも加わって来た。家の中を必死に逃げる三千子。だがついに台所に追いつめられた。ザンビの爪が三千子に迫る。その時，ガス台から激しい炎が噴き出しザンビを焼きつくした。三千子もエスパーだったのだ。ザメディが三千子にとびかかって首をしめあげた……。

飛びこんできた丈が見たのは，炎の中に，崩おれていく三千子の姿だった。

復讐してやる／ルナたちの制止を振り切って，丈は外に出た。邪悪な想念にとらわれたまま，「力」を使えば，自らが破滅する。ルナ達は復讐の想いに捕われた丈と，行動を共にすることはできなかった。

激しい砂嵐が丈に吹きつける。防ごうとしても「力」は出てこない。丈は

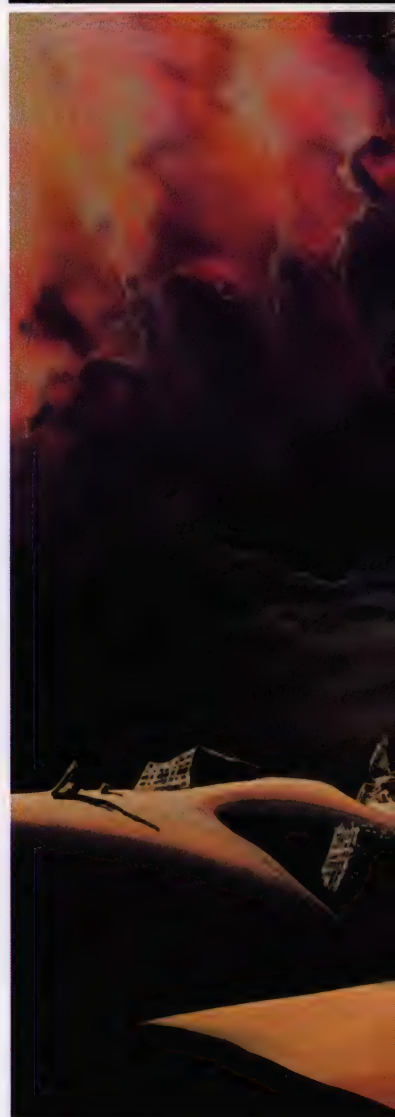
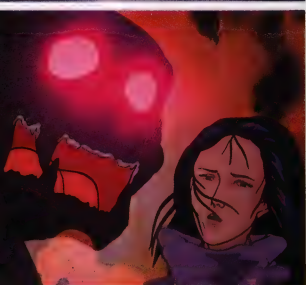
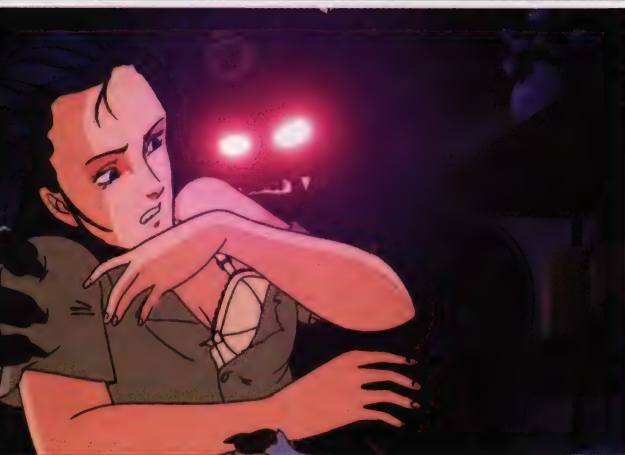
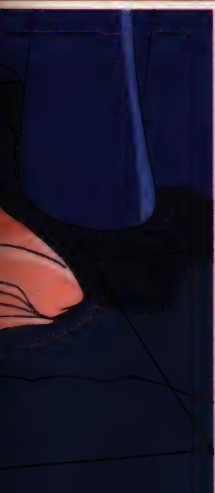
絶望し力尽き，砂の上に倒れ伏した。

東京は完全に砂漠化した。

丈は，江田四郎に拾われ，カフー超能力研究所の病室にいた。そこに忍びこんだ少女がいた。タオだ。タオはプレコグニション(未来予知)能力で丈のことを知り，かけつけて来たのだった。ふいにタオの能力が何かを知らせた。

激烈な地震が東京を襲った。ビルは倒壊し，月が地球に接近した。

地震のショックで意識を取り戻した丈には「力」が戻っていた。タオの話から，幻魔の居所を知ると，丈はすぐさまとび立った。あわててタオが後を追う。行く先は——富士山。

富士は轟然と噴火していた。上空は黒煙と鳥の大群におおわれていた。丈は一気に火口へ突っ込んでいった。

6
富士での戦い

富士の大爆発で丈は吹きとばされた。タオを見失い，一人，樹海の中に倒れていた。「力」もまた無くなっていた。

森は炎に包まれていた。あえぎながら進む丈。丈の胸を絶望が支配する。

倒れ込んだ丈の脳裡には，渓流で三千子と遊んだ昔の記憶が浮かんでいた。

気がついた時，丈のまわりには，焼け出された動物たちが取り巻いていた。

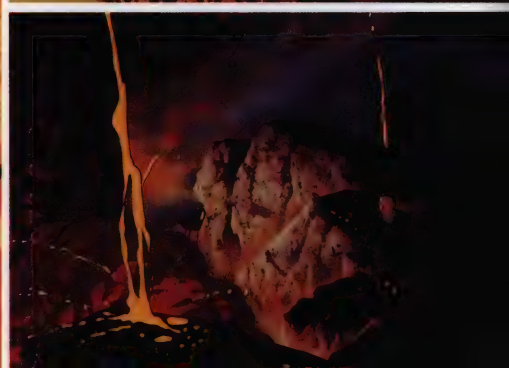
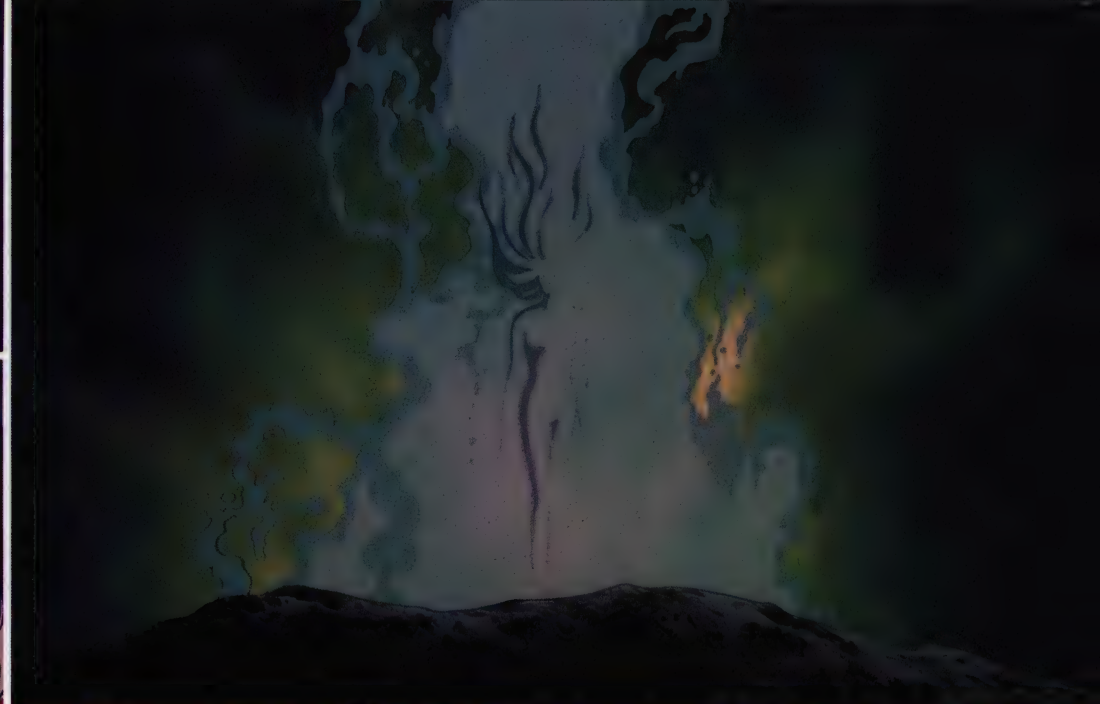
仔鹿を抱き，流民のような動物たちの先頭に立って丈は進んでいった。丈の心に三千子の言葉がこだまする。

——オレは一人じゃない。ルナたちも動物たちも仲間なんだ。〝力〟は仲間たちへの想いから，湧いてくるんだ。

丈は〝力〟が何であるか感じ始めていた。

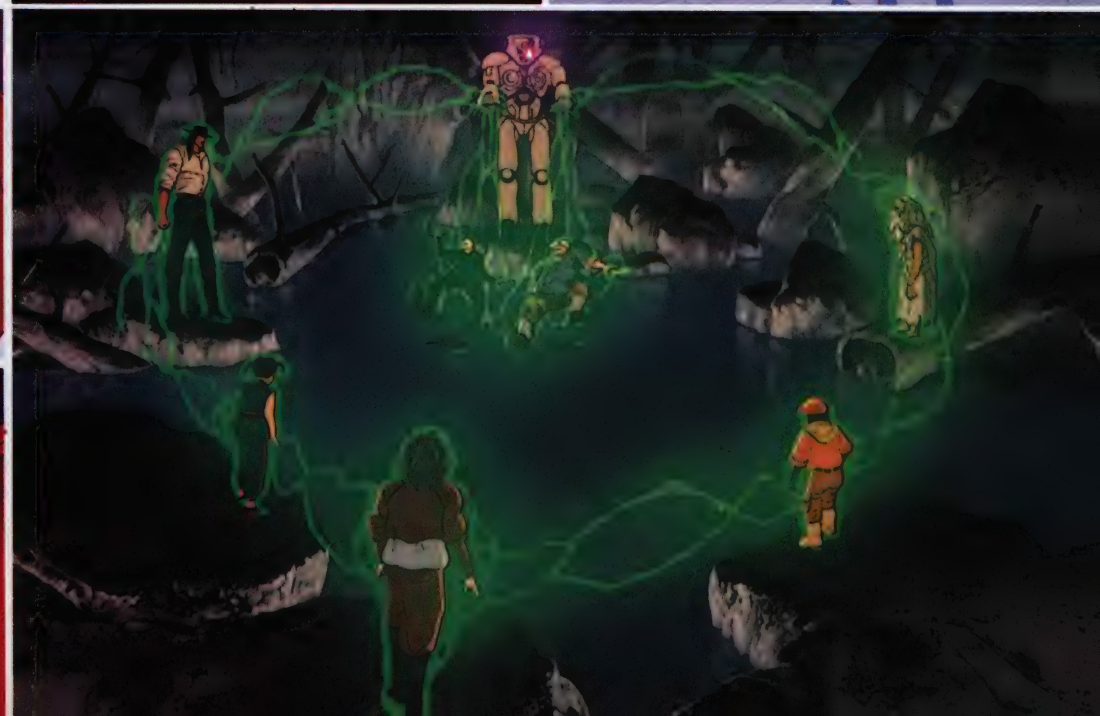
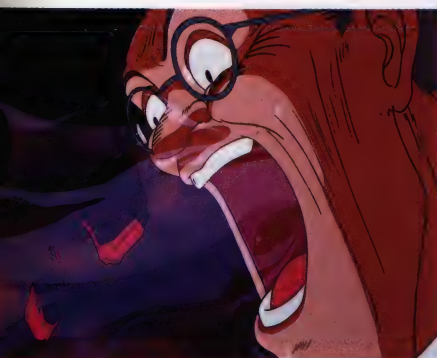
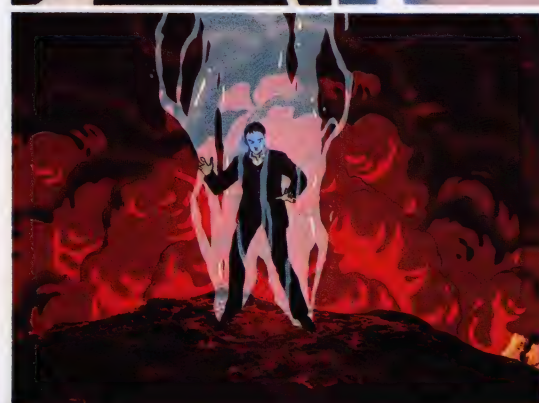
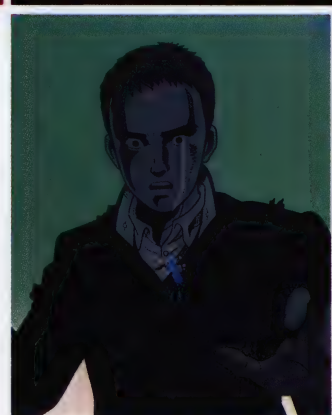
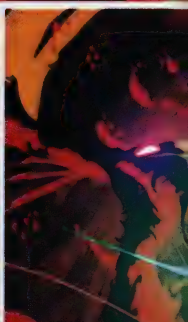
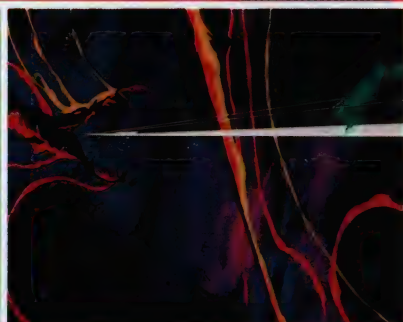
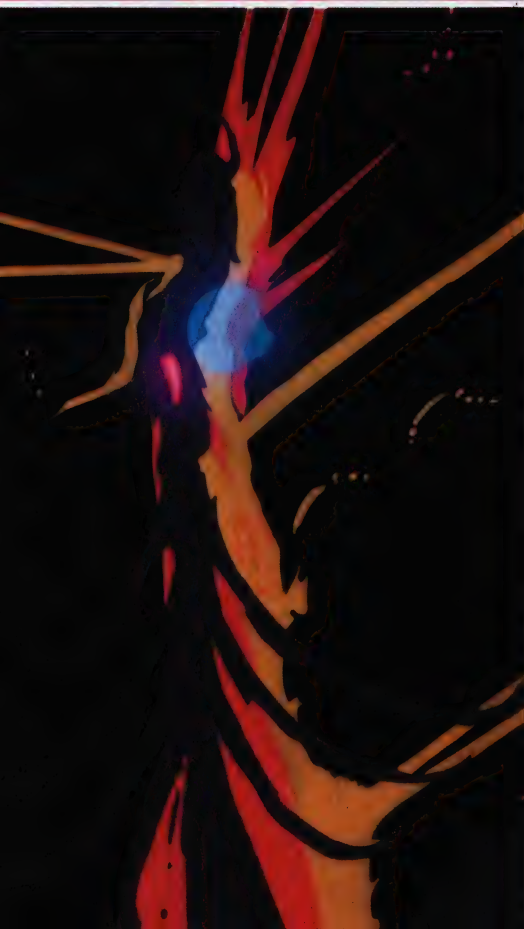
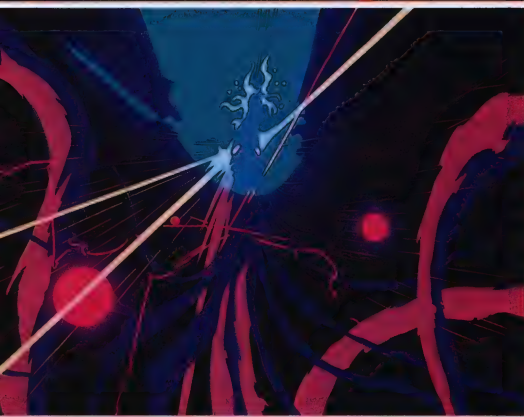
江田四郎が丈と動物たちの前に現われた。四郎は丈に幻魔の味方になれと誘った。ザメディに憑依されているのだ。四郎は丈の抱いていた仔鹿を引き裂こうと手をかけた。丈の体からオーラが発光する。力が戻ったのだ。四郎もオーラを発した。「力」と「力」が激しくぶつかり合った。息絶え絶えになりながら，丈は四郎を倒した。だが力つきて気を失ってしまった……。

目を開けると丈の前には，タオともう一人，アサンシがいた。火口に続く洞窟の中だった。二人は丈に「力」の使い方を教え始めた。

火口へ向う三人の前に，溶岩流の中から，カフーが姿を現わした。カフーこそ，幻魔の地球壊滅作戦の司令官だった。丈とアサンシはカフーに攻撃をかけた。岩石群が，カフーに向かって殺到する。だがカフーは二人の攻撃を全く問題にしない。岩石はことごとくカフーの近くで消滅した。

カフーが攻撃をかけた。溶岩流が巨大な火柱となって火口から噴き上る。すさまじい力だ。かろうじて巨岩の上に着地した丈とアサンシを，カフーの口から放たれた霧状の冷気が包みこむ。元素転換。二人の身体は石化し始めた。

突然，丈の体から炎が燃え上り，カフーに襲いかかった。驚顎しつつ，カフーは消滅した。炎はゆらめきながら女性の裸身を浮かび上がらせた。三千子の残留思念だった。丈を守ろうとする三千子の愛の力だった。丈の眼から一筋の涙がこぼれ落ちた……。

ルナ達が集まってきた。６人のサイキック・ウエーブ・マッサージで，丈とアサンシは助かった。ルナは思わず丈に駈け寄っていった。

今，８人の戦士は集結した。愛がエネルギーだと知った丈は，戦士として大きく成長していた。だが――。

7
光の天使

　ふいに激しい噴火が起こり，巨大な岩がふっとんで来た。カフーは滅んでいなかった。復元し，逆襲に出たのだ。
　丈が巨岩に突っこんでいく。オーラが白熱し，一瞬にして，巨岩を包みこんだ。丈は全身から白熱光を放っている。ノヴァ現象。それこそ丈の本当の力だった。ルナはこれを待っていたのだ。
　いよいよ，カフーとの決戦が始まった。ふたたび激しい震動が８人の戦士を襲う。火口からは，巨大な火竜と化した溶岩流が，暗黒の夜空へと立ち昇っていく。
　ルナ，丈，ベガ，ソニー，タオ，ヨーギン，アサンシ，サラマンダー――８人のサイオニクス戦士たちは，全身オーラの光に包まれて，次々と空中にとんだ。溶岩流は，うねり，ねじれ，轟音をあげて，戦士たちを襲う。その上を光り輝く戦士たちが飛びかう。
　激しい死闘が展開された。溶岩流は戦士たちの放つエネルギーを生体原子変換してハネ返していく。
　火口の中での戦いは不利と見た８人は，円陣を組んで外に飛び出した。一気に上昇する。後を追って，火竜と化した溶岩流が追撃する。
　「最後の手段をとろう」ベガが言った。ベガのボディを増幅装置にして，火竜のエネルギーを逆流させるというのだ。丈がベガの頭上についた。その囲りに６人が円陣を組む。８人のオーラが輪となって光る。急迫する火竜。
　「絶対零度!!」丈が叫ぶ。
　強力な光が炸烈した！
　静寂が戻ってきた。溶岩流は，凍りつき，氷塊と化していた。ソニーが蹴った。氷塊は，無数の氷片となって，きらめきながら，大地に降りそそいだ。
　タオが駈け出した。「ベガよ，これ」ベガは球体と化していた。悲しみにくれる一同にベガはいった。
――あらゆる生命は絶え間なく輪廻転生していく――。
　球体を囲んで７人の戦士は円陣を組んだ。円陣は白金光のオーラを放ち，光の輪となって昇っていった，生命の源へと……。地球は救われた――。

倒壊する新宿ビル群

リアルに描かれた新宿の街並

細密なビル工事現場の描写

ART

「幻魔大戦」の見所の一つは，精緻に描かれた美術の数々だ。椋尾篁美術監督の下，新宿や吉祥寺の街並やニューヨーク市街，山奥の古寺や丈の家が実在感たっぷりに描かれている。従来のアニメ映画ではあいまいにされていたネオンや広告も細かく描きこまれ，実写映画以上のリアリティで画面に出現する。壊滅するニューヨークや新宿の地獄絵図の迫力もすさまじい。こうした美術の成果がドラマに迫真の説得力をもたらしている。

ニューヨーク(エンパイアステートビルより見る)

幻魔の攻撃，嵐にみまわれるニューヨーク

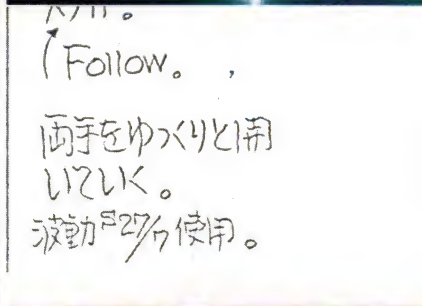
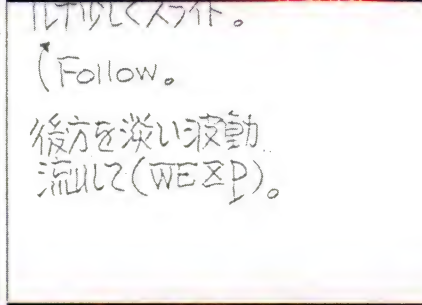
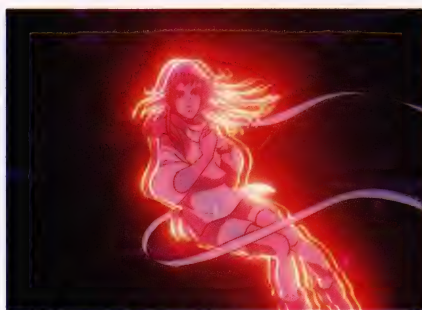
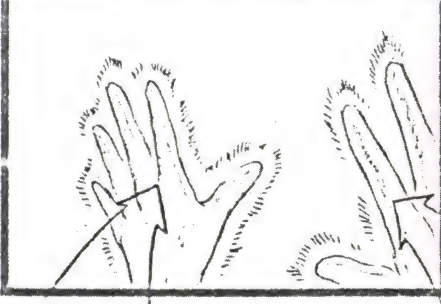
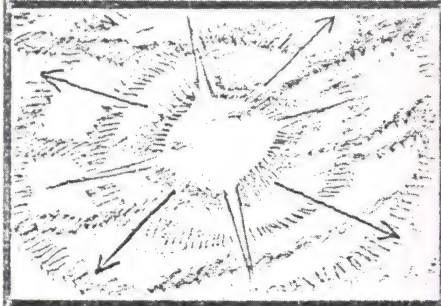
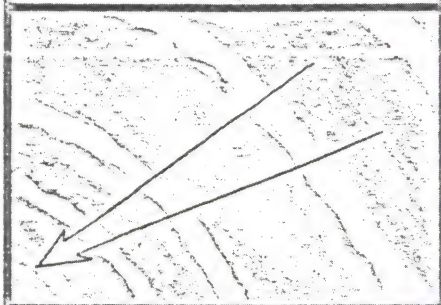
ニューヨーク全景

ニューヨークの街角

ニューヨークを津波が襲う

丈の家

砂漠化した住宅地

PRODUCTION NOTES

映画界に華々しく登場した角川書店社長，角川春樹プロデューサーは，この10年もの間，沈滞気味にあった日本映画界に活気を取り戻させ，多くの話題作を贈り続けてきた。角川文庫の宣伝的要素が強かった映画製作から，映画そのもののエンターティメントを追求しはじめた角川映画は，勢いがついている。

この「幻魔大戦」は，壮大な着想と時空を超えたストーリーのため，映画化は不可能とされていたが，アニメーションの技術を駆使するという映像表現の自由さを活かし，最もスペキュタリーにとんだ原作（角川文庫版）の発端部分を中心に，コミック版の結末をつける形で，超娯楽アニメーション大作として製作された。

ハルマゲドン（最終戦争）を描くこの物語は，著者・平井和正の弁を借りれば〝メシア小説〟ともいわれる。また，映画では超能力者を描く初のアニメーションでもある。

映画の全体像で言えば，来たるべき恐怖に対する警告であり，日本のアニメーション界の中で言うならば，スタッフ編成，製作状況，作品内容のそれぞれ初ものづくしの大作であると言えるだろう。

まず，事のおこりから書いてみると…。

角川映画「蔵の中」('81)の打ち上げパーティの席上，脚本家の桂千穂が角川春樹プロデューサーに〝幻魔大戦を映画化しないのですか!?〟と訊ねたことに始まる。

それまでにも多くの映画化を望む声を耳にしていた平井和正は，ある直感によって映画化を懇願してきた角川春樹に「そろそろ時期が来たのですね」と映画化を許諾した。角川春樹自身が，「復活の日」('80) に続くメッセージ映画として製作を決意した。

壮大な物語のため，ヘタな特撮で活字が具象化されて，マンガになることを恐れた角川春樹は，技術水準も高く，興行的な面でも市民権を得た状況にあるアニメーションによる映画化にふみきった。「監督は彼しかいない！」とかねてから高く評価していた「銀河鉄道９９９」「さよなら銀河鉄道９９９」のりん・たろうを起用。

これまでの，ヒーロー・ヒロイン中心のアニメーションでも，メカニックなものでもない〝ハルマゲドンを描く〟ために，アニメーションという表現方法を必要とするという，かつてない要望と，各スタッフのアニメーションに対する欲求とがマッチして，「幻魔大戦」はスタートをきった。

これまでのアニメーション映画は，必ず製作会社がアニメーション・スタジオを有し，常に次回作の企画や製作費の枠に何らかの規制が生じていたが，今回は角川春樹事務所から，スタッフが集まるプロジェクト・チームを独立させた形でスタジオが設置された。監督であるりん・たろうがフリーランサーであり，彼が集めたスタッフのほとんどがフリーランサーであったから可能であったことだ

が，画期的なことである。

大手から抜け出て，新しいスタイルの映像づくりに参加するという形は，危険負担が各人に大きいが，〝りん・たろうの村づくり〟への参加は，それにこたえるものがあった。映画をつくること——スタッフが一丸となる場というものが，今日のアニメ界には皆無に近かったからだ。直接製作費が高いといわれるが，最初にして最後かもしれぬスタジオを維持して映画をつくるプロジェクトとしては，これだけのスタッフを集め，短期間で一本つくりあげるには製作費はまずまずの数字である。これも，りん・たろうの人得のなせる技だ。

プロデューサー・角川春樹は，自分のテーマを告げただけで，一切の口ははさまず，りん・たろうに自由なあらゆる空間を与えた。そして「銀河鉄道９９９」以降，作家としての自分をさらし始めたりん・たろうは，ここで開花しはじめたという感が強い。

桂千穂が内藤誠と共に脚本を執筆した。平井和正・石森章太郎コンビが15年前に少年マンガ誌上に発表したコミック版をベースにした脚本だった。設定を丸山正雄と真崎守の両人が担当。りん監督のテーマに沿ってアニメーション作業を，(角川文庫版の小説的要素と平井和正が描かんとする要素を加えて，舞台を現在におきかえる等の作業）を開始した。

シークエンスの細部は，キャラクター・デザインとして参加した大友克洋も含めたメイン・スタッフ全員のミーティングで煮つめられた。

今までのアニメーションのように脚本ができたら絵コンテをつくり，その絵コンテと演出家の意図に沿って原画を描いていき……といった，バラバラに分断された流れ作業ではなく，各パートのオーソリティーが脚本づくりから参加していった。稀にみる本格的なシステムが確立されていた。

設定作業は，主に舞台を現代に置きかえることを中心に，キャラクターの設定・状況を検討。実際にキャラクターを歩かせようという街や場所を，メイン・スタッフは点々と濶歩し，カメラに収めたりスケッチし，その場の匂いをかぎとっていった。

リアルではなく，リアリティーを追求することによって，ドラマに重みと実在感を植えつける作業を開始した。

美術監督に椋尾篁。「銀河鉄道９９９」ＴＶシリーズ「宇宙海賊キャプテン・ハーロック」「がんばれ元気」と，りん・たろうとコンビを長い間組んだ，息のあった人である。いまだに互いに刺激し合っている。今回は自ら主宰するスタジオを１年間留守にして，プロジェクトの一員としてがんばった。

役者でいえば良きバイプレーヤーとして作画監督・野田卓雄は，りん監督と共に数本のＴＶや劇場用の原画を担当し，ＴＶシリーズ「グランプリの鷹」では作画監督を担当。この人も自分の主宰するスタジオNo１を１年間留守にした。

キャラクター・デザインに大友克洋。漫画家として熱狂的なファンを持つ若手作家の１人である。真崎守とりん監督の大英断で参加が決定。執筆活動はほとんど休んで，キャラクターづくりに参加。百枚余のスケッチを描いた。しかし，これも映画のなせる技，通常のアニメーション会社では起用できない人だろう。

スペシャル・アニメーションに金田伊功。この人独特のアニメーションには大友克洋同様，熱狂的なファンが多い。今回も，その手腕をあますところなく発揮している。

助監督に石崎すすむ。フリーの演出家として，数多くのＴＶシリーズを手がけ，一時期は実写映画の助監督の経験をもつ。今回は，りん監督の下で，監督を大いに助けた。

プロジェクト・チームの名は〝アルゴス〟。ギリシャ神話から，りん監督がとってきた名前だ。ちなみに，アルゴスとは一つ目の巨人のことである。

メイン・スタッフが毎日つめて具体的な作品の方向が固まったのは，５月。スタートして４ヶ月を数えた頃だった。

全員が意見を出しあう中で，大友克洋のデザインを椋尾篁が仕上げたポスターが第一弾のイメージ・ポスターとして決定。５月13日に記者会見が帝国ホテルで開かれた。だが，記事は小さい。まだ，プレス関係には海のものとも山のものともつかぬ角川映画とりん・たろうのカップリングが絵になって，見えてこなかったようだ。

作画スタッフがアルゴス入りした。

野田卓雄のスタジオNo１を中心に，大友克洋の参加に刺激されて…の感が強いメンバーがそろった。大友はスタッフに何かを求め，スタッフは大友に何かを求めた。

プレッシャーとプレッシャーの密かなぶつかり合いは監督をさらに刺激し，要求の度合は高まるばかりである。リテークが続出してなかなか作業は進まない。何人かの原画マンは要求に答えられず，アルゴスを去っていった。ラッシュが上がるまで，ずいぶん長い時間がすぎていったのを記憶する。

撮影監督は八巻磐。アニメーション・スタッフルームの技術部長であり，ＣＦ界のコンピュータ旋風の口火を切った１人である。旧虫プロ以来，常に先をみつめ，オーソドックスな映像づくりを目ざしている。コンピュータ然とした機械的な動きや色あいが露出しない程度で，効果をあげるスペシャル・イフェクトを検討，日本初のスリット・スキャンを開発した人だけに安定感の強い映像が得られた。

音楽は〈フロイのテーマ〉にシンセサイザーの巨人／キース・エマーソンが決まり〈幻魔のテーマ〉に佐渡國鼓童が参加し，音楽を青木望が担当することになった。そして，テーマ曲を唄うのは「汚れた英雄」のローズマリー・バトラーと豪華メンバーが揃った。見事である。

ドルビー・４チャンネルステレオのために，声優たちもいつになく，緊張し，台本の頁をめくる音も入ってしまうとあって気が配られた。売り文句でしかなかったドルビーをこの作品で定着させようと，現場はやっきになっていた。録音にはアオイスタジオの辻井一朗が参加。りん監督とは初めてであるが，その腕前にほれ込んだようだ。

作画は10万枚に達する——。ドラマづくりに熱くなったスタッフに，枚数を少なく作画しろなどと，とめることは誰にもできなかったのである。

1983年２月，公開を１ヶ月後に控えて映画「幻魔大戦」は完成した——。

文／制作宣伝・広瀬和好（文中敬称略）

PROFILES

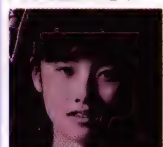
(東丈)
古谷　徹

昭和28年7月31日横浜に生まれる。43年，15才で『巨人の星』星飛雄馬の声を演じ，圧倒的な人気を得る。これはその当時までの「子供の声は女性が担当する」という常識を破った画期的な試みであり，以後の作品に大きな影響を与えた。また，歌手としてもＬＰデビューしている多才な人気者である。〈主な出演作品〉海賊王子(キッド)／巨人の星(星飛雄馬)／機動戦士ガンダム(アムロ)／メーテルリンクの青い鳥(チルチル)／宇宙戦艦ヤマト(徳川太助)／がんばれ元気(火山尊)他。以上ＴＶ。地球へ(トオニイ)／夏への扉(ジャック)／シリウスの伝説(シリウス)／機動戦士ガンダム(アムロ)。他。以上劇場用アニメ。

(ルナ)
小山茉美

昭和32年1月17日愛知県生まれ。劇団ウィークエンド名古屋スタジオ第一期生。人気番組『キャンディキャンデイ』アニー役や『Dr.スランプアラレちゃん』アラレ役で大活躍。また『チャーリーズ・エンジェル』のクリス役では，シェリル・ラッド自身よりムードのあるアテレコで評判になった。〈主な出演作品〉キャンディキャンディ(アニー)／ニルスの不思議な旅(ニルス)／機動戦士ガンダム(キシリア)／Dr.スランプ　アラレちゃん(アラレ)／太陽の子エステバン(シア)他。以上ＴＶアニメ。チャーリーズ・エンジェル(クリス)／フラミンゴ・ロード(コンスタンス)以上ＴＶ映画。

(東三千子)
池田昌子

昭和14年1月1日東京都生まれ。劇団ちどりでの子役時代から，既に30年を超すベテランである。劇団現代人劇場，文芸プロ等を経て，現在は同人舎プロ所属。その活躍の場は俳優，歌手，声優，ナレーターと巾広く，優しくて清楚な魅力で人気を得ている。特に声優としては，オードリー・ヘプバーン，グレース・ケリーの吹き替えが有名。アニメも『ニルスの不思議な旅』(お母さん)，『ペリーヌ物語』(マリ)，『銀河鉄道999』(メーテル)など多数。

(タオ)
原田知世

昭和42年11月28日生まれの15才。２才の時からクラシック・バレーを習う。角川映画の大型女優募集コンテストで特別賞受賞。ＴＶ『セーラー服と機関銃』の主役，星泉としてデビューを飾る。引き続いてＴＶ『ねらわれた学園』に主演。同番組主題歌も唄う。83年夏には劇場用映画『時をかける少女』の主演が決定している。現在期待№１のホープである。アニメのアテレコは今回が初めてだが，持ち前のカンと若さで頑張っている。

(カフー)
穂積隆信

昭和６年７月20日静岡県に生まれる。昭和28年俳優座養成所を３期生として卒業。新人会，新劇場を経て現在フリー。34年の『にあんちゃん』で映画デビューのあと，映画，舞台，ＴＶとあらゆる分野に巾広く活躍。特に，ＴＶでは『飛び出せ！青春』を始めとするニクみきれないイジワル教師を演じて大人気。青春ドラマ・ホームドラマに，もはや欠かすことの出来ない貴重なキャラクターを確立した。

(女占星術師)
白石加代子

東京都出身。昭和42年早稲田小劇場入団。44年から45年にかけて上演された『劇的なるものをめぐって』での演技が，演劇界及び各界に衝撃を与える。その後，パリ世界演劇祭など，世界各地の演劇祭に参加，世界の演劇人から絶讃を浴びる。最近の舞台では『宴の夜・三』のマクベス夫人，『サロメ』のヘロデ王とサロメ，『バッコスの信女』のディオニュソスとアガウエなどがある。アニメのアテレコはもちろん初めての経験。

(ベガ)
江守　徹

昭和19年１月25日東京都生まれ。37年都立北園高校を卒業後，文学座付属演劇研究所に入る。41年座員となり，新劇界のホープとして活躍中。特に『ハムレット』は彼の代表作の一つで，そのスケールの大きな演技は定評あるところ。映画出演も少なくはないが，本人は，自身のことを舞台人として認め，あまり映画のことにはふれたがらない。最近は，ＴＶに広く進出し，重厚な役からコミカルな役まで，自在に演じている実力派だ。

(フロイ)
美輪明宏

昭和10年５月15日長崎市生まれ。海星中学校卒業後上京して，国立音楽大学付属高校に進むが27年中退。銀座のシャンソン喫茶・銀巴里で歌っているところをスカウトされ32年『メケ・メケ』でデビュー。その奇抜なスタイルと妖しい美しさで一大センセーションを起こす。32年の『永すぎた春』で映画初出演の後，多数の作品に出演。舞台でも『黒蜥蜴』『マタハリ』等で独特の芸域を展開。妖艶で華麗，人をそらさない語り口とともに現代の女形としての評価は高い。

角川春樹〈製作〉

42年，富山県生まれ。国学院大学卒業後，65年角川書店に入社。75年社長に就任するや，次々と数多くのベストセラーを出版。さらに，横溝正史，森村誠一らの〝文庫フェア〟を成功に導き空前のブームを生んだ。76年，角川春樹事務所を設立し，映画製作にのりだす。大胆な発想とバイタリティあふれる行動力で「犬神家の一族」をはじめとする大ヒットを連打し，80年「復活の日」では世界マーケット進出を果たした。そしていま，アニメを初めて手がける。映画界の風雲児はつねに〝台風の目〟なのだ。

石森章太郎〈製作・原作〉

'38年宮城県生まれ。高校在学中に漫画家としてデビューしたキャリアを誇る漫画界の天才。赤塚不二夫，長谷邦夫らと「東日本漫画研究会」を設立。故郷・宮城県から上京後，トキワ荘を根城に，寺田ヒロオ，藤子不二雄，鈴木伸一らと「新漫画党」を，〝結党〟。若い才能ある仲間たちに刺激され，感性を磨く。数々の漫画賞に輝き，80年，「サイボーグ００９・超銀河伝説」の原作・総指揮で劇場用アニメに進出。「佐武と市捕物控」「仮面ライダー」など多数のヒット作がある。日本を代表する漫画家の一人である。

平井和正〈原作〉

38年，神奈川県生まれ。62年，「ＳＦマガジン」６月号に「レオノーラ」でデビュー。デビュー当時から，人間の内部に潜む暗い情念を，激しいタッチで描いていたが，69年発表の「ウルフガイ」シリーズの後半から，次第に魂の救済へと視点が移っていった。現在は「幻魔大戦」「真・幻魔大戦」に全力をぶつけており，すべてのテーマを集約しつつある。ライフ・ワークは「ハルマゲドン」シリーズと伝えられる。代表作は他に，「ウルフガイ」シリーズ，「悪霊の女王」等。かつては「エイトマン」等アニメの原作も手がけた。

りん・たろう〈監督〉

41年，東京生まれ。58年，東映動画に入社。「白蛇伝」で動画スタッフとして参加。63年，虫プロ創立メンバーの一人として参加。TVアニメの「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」「佐武と市捕物控」「ムーミン」などの演出を担当。その後フリーとなり，「グランプリの鷹」「キャプテン・ハーロック」も手がけた。79年，劇場用長編アニメ「銀河鉄道９９９」の監督となり，81年には続編に当たる「さよなら銀河鉄道９９９」を監督した。テレビ・アニメでは「がんばれ元気」(80)のチーフ・ディレクター，「吾輩は猫である」の監督もつとめた。

内藤　誠〈脚本〉

36年，名古屋市生まれ。59年，東映に助監督として入社。石井輝男，マキノ雅弘，深作欣二らについて映画作法を学びながらシナリオを書く。69年，監督に昇進，第一作「不良番長・送り狼」を発表，以後，〝不良番長シリーズ〟を多く手がける。荒唐無稽・奇想天外・アナーキーな作品群をつぎつぎと放ち，ビートルズ世代をとりこにした。82年「時の娘」を送り，さらに，筒井康隆原作の「俗物図鑑」を監督した。

丸山正雄〈設定〉

41年，宮城県塩釜市生まれ。虫プロに入社，TVアニメ「あしたのジョー」「国松さまのお通りだい」の設定を担当。マッドハウスを設立し現在社長。TVアニメ「エースをねらえ」「世界むかし話」「マルコポーロの冒険」なども手がける。劇場用アニメ「夏への扉」「浮浪雲」「ユニコ」「ユニコ魔法の島」をつづいて担当。このほかにもPR映画「ファイヤーGメン」(日本損保協会)「電話の天使」(電々公社)なども手がけており，現在に至っている。

明田川　進〈プロデューサー〉

41年東京生まれ。63年，虫プロに入社。虫プロ在籍中，TVアニメ「新宝島」のプロデューサー，「ジャングル大帝」「佐武と市捕物控」などの音響監督を歴任。69年，グループ・タック設立に参加。音響監督として「ワンサくん」と「ふしぎなメルモ」「天才バカボン」等を担当。75年，サンリオに入社，「星のオルフェウス」の制作や「キタキツネ物語」の音楽プロデュースを担当した。79年，手塚プロの劇場用長編アニメ「火の鳥２７７２」のプロデューサーとなる。現在，マジック・カプセルを主宰，音響・音楽を中心に活躍中。

桂　千穂〈脚本〉

30年，岐阜市に生まれる。71年，「血と薔薇は暗闇のうた」で第21回新人シナリオ・コンクールに入選。72年，東宝「薔薇の標的」の脚本を，師匠格の白坂依志夫と共同で執筆，シナリオ・ライターとしてデビュー。78年，金田一耕助シリーズ「女王蜂」で初めて横溝正史作品のシナリオを書いた(日高真也，市川崑と共作)。ほかに「白鳥の歌なんか聞えない」「HOUSE」。簡潔なセリフ・非日常的な美の世界の創造に優れた手腕を示す。怪奇幻想小説にも造詣が深い。角川映画「蔵の中」の脚本も担当。

野田卓雄〈作画監督〉

39年，神戸市生まれ。63年，TCJ入社。65年，第一動画に移り，その後69年，東映動画に入るが73年，フリーとなる。TVアニメ「タイガーマスク」「ゲッターロボG」「大空魔竜ガイキング」などの原画を手がける。その後りん・たろうとのコンビで「グランプリの鷹」の作画監督を担当。「キャプテンフューチャー」「燃えろアーサー」，さらに劇場用アニメ「白鳥の湖」の作画監督をつとめる。りん監督の劇場用アニメ「さよなら銀河鉄道９９９」では原画も担当している。

大友克洋〈キャラクターデザイン〉

54年，宮城県生まれ。劇画離れした乾いた絵柄と特異な物語で，まんが界に大きな影響を与えている。しっかりしたデッサン力と日常の細部をきちんと捉える視点の確かさは，高く評価されている。81年，日本漫画家協会優秀賞に輝く。代表作は「ショート・ピース」「ハイウェイ・スター」「さよならにっぽん」，「童夢」「ヘンゼルとグレーテル」矢作俊彦と組んだ「気分はもう戦争」等。映画にも関心は深く，自らメガホンも握る。現在，「ヤング・マガジン」誌で，超能力者を扱ったSF「アキラ」を連載している。

真崎　守〈設定・脚本〉

41年，横浜生まれ。63年虫プロに入社，TVアニメ「新ジャングル大帝」「わんぱく探偵団」のプロデュース，「佐武と市捕物控」の演出を担当。68年より漫画家活動に入り，斬新な手法と感覚で評判となる。又，評論も手がけ若い世代に大きな影響を与える。71年，「ジロがゆく」ほかで講談社出版文化賞を受賞。代表作に「真崎守全集」全20巻(ブロンズ社刊)。TVアニメ「マルコポーロの冒険」の演出，劇場用アニメ「夏への扉」「浮浪雲」「はだしのゲン」(制作中)の監督をいずれも手がけている。

金田伊功〈スペシャルアニメーション〉

52年，奈良生まれ。東映動画入社。TVアニメ「大空魔竜ガイキング」「無敵超人ザンボット３」「無敵鋼人ダイターン３」などの原画を担当。劇場用アニメでは「地球(テラ)へ…」「銀河鉄道999」「さよなら銀河鉄道999」「サイボーグ009」なども手がけている。若い世代のアニメ作家として，新鮮な感覚のタッチを持ち，急速に人気が高まっている。そのほかに，「ブライガー」(オープニング・タイトル)なども担当している。

椋尾　篁〈美術監督〉

38年，長崎県佐世保生まれ。63年虫プロに入社，アニメ「鉄腕アトム」の背景を担当。65年東京ムービーに入り，「アタックNo.１」も手がける。69年，ムクオスタジオを設立し，TVアニメ「ルパン三世」「ハイジ」を担当「母をたずねて三千里」の美術，劇場用アニメ「銀河鉄道999」「さよなら銀河鉄道999」，TVアニメ「キャプテン・ハーロック」「がんばれ元気」，TVスペシャル「我輩は猫である」などでは，りん・たろう監督のもとに美術を担当した。劇場用アニメ「セロ弾きのゴーシュ」の美術も担当。

八巻　磐〈撮影監督〉

41年宮城県塩釜市生まれ，66年，虫プロに入社。TVアニメ「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」「佐武と市捕物控」，劇場用アニメ「千夜一夜物語」の撮影を手がける。70年，東京アニメーションフィルムに入社。「巨人の星」「エースをねらえ」「ルパン三世」等の撮影を担当。74年，アニメーションスタッフルームに移り，劇場用アニメ「シリウスの伝説」「火の鳥2772」では撮影監督を担当。また，CFの世界では国内初のスリットスキャンカメラの導入等コンピューターを利用した映像開発にも力を入れている。

石崎すすむ〈助監督〉

51年，千葉県生まれ。大友克洋，金田伊功らと同じく，スタッフの中では若い世代に属する一人である。70年，虫プロ入社。TVアニメ「ムーミン」「さすらいの太陽」の制作進行「ワンサくん」の演出助手をつとめ，72年，フリーとして「星の子チョビン」「宇宙戦艦ヤマト」「ジェッターマルス」などの演出助手となる。その後「クムクム」「ドカベン」「最強ロボ・ダイオージャ」「伝説巨神イデオン」「おはよう！スパンク」などで絵コンテ，演出を担当し，現在に至る。

お　知　ら　せ

“プログラムに掲載されている写真を実費販売します”
このプログラムの中の写真でⒸ印のものご希望の方は下記へ現金書留又は郵便切手(代金分を普通郵便の封筒に入れる)で、映画名、ご希望の写真番号及びサイズを明記してご注文下さい。
ご注文の受付は昭和59年１月末日迄でメ切ます。
〒104 東京都中央区銀座２－６－４ プレイガイドビル
株式会社 東和プロモーション　Ａ－50係

サイズ	販売価格(送料を含む)	
	カラー	
	スチールのみ	アルミフレーム付パネル
ポストカード 14.3×9.9cm	￥300	
6ツ切 24.0×19.0cm	￥1,500	￥2,700
4ツ切 29.0×24.0cm	￥2,000	￥3,800

キース・エマーソン〈音楽監督〉

Keith Emerson

44年イギリス，ランカシャーに生まれる。7歳のころからピアノのレッスンを受けていたが，十代の前半にはジャズを志向していた。ジャズとクラシックのクロスオーバーということへの興味をこの頃から持ち始める。67年ロック・グループ「THE・NICE」に参加。ヨーロッパの人気グループとなるが69年，グレック・レイク，カール・パーマーと組んでELPを結成。70年代を通じて最大のプログレッシブ・ロック・グループの一つとなる。ロックとクラッシックとジャズの融合を押し進め，シンセサイザーをコンサート会場に持ちこむ等，ロック界に革命を起こし，圧倒的な人気で，ロック史に残る巨人となった。ELP解散後は，映画音楽へ傾斜し，「インフェルノ」「ナイトホークス」等の音楽を担当。

ローズマリー・バトラー〈主題歌〉

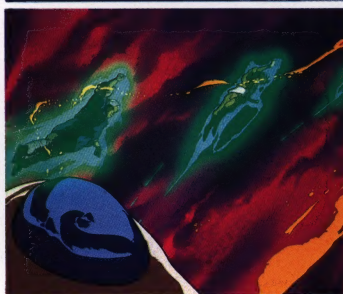
Rosemary Butler

米国ロード・アイランドのプロヴィデンス生まれ。父は軍関係の仕事をしていて，そのためにアメリカ中を転々とする。兄が聖歌隊の指揮を，祖母がオルガンを弾くという環境で早くから音楽に目覚めた。18才の時女の子ばかりのロック・グループ〝レディ・バーズ〟（後に〝バーサ〟）を結成，ローリング・ストーンズやバーズと共演した。ローズマリーはリード・ヴォーカルとベースを担当し，レパートリーの大半を書いていた。次第にヴォーカルに専念するようになり，特に77年以降のジャクソン・ブラウンとのツアーから大いに注目される。ボニー・レイット，ドゥービー・ブラザース，リンダ・ロンシュタット等スーパースターとのセッションは数百を数える。抜群のリズム感とソウルフルな歌唱力は「汚れた英雄」の主題歌で実証ずみだ。

青木　望〈音楽〉

昭和6年3月2日，東京生まれ。作曲家橋本慶万氏に理論を学び，藤山一郎専属楽団「ウキステリア・アンサンブル」のバイオリン奏者，「朝比奈五郎とダウンビーツ・オーケストラ」のピアノ奏者，「有馬徹とノーチェ・クバーナ」のアレンジャーを経て「原孝太郎と東京六重奏団」の専属アレンジャーとなり，現在に至る。りん監督の「銀河鉄道999」では音楽を担当している。

佐渡國鼓童〈締太鼓〉

昭和46年4月，都会を捨てた数人の若者が佐渡に渡った。廃校になった小学校舎に棲みついた彼らは，野山を走り，太鼓をたたく日々を送った。「佐渡國鬼太鼓座（おんでこざ）」の誕生である。『日本の太鼓を世界に』を合言葉にその活動を世界に拡げていく。昭和56年9月名前を「佐渡國鼓童」に改め，ベルリン芸術祭での旗上げ公演は絶賛を博した。

主題歌　光の天使　CHILDREN OF THE LIGHT

作詩/トニー・アレン
曲・演奏/キース・エマーソン
歌/ローズマリー・バトラー

It's time for us
To start all over trusting in our dreams
The light is love that gives us all the strength
To shine throughout our lives
A new dawn awaits us all

＊In years to come
We'll build a world where love is all around
We'll learn to live and there will be no doubt
And every heart will be true
(free)

The path we choose
Is leading us beyond our space and time
The whisper in the darkness of the night
Echoes eternally
Beautiful melodies

The future waits
We'll build a new life from this fiery birth
A world where prophecies wait to be told
Fulfilled in time to come

＊＊We're children of the light
The future we will guide
The light will lead us on
Love is on our side

And bright are the days ahead

——間奏——

＊ repeat
＊＊ 〃

HARMAGEDON

幻魔大戦

CAST

東　丈……古谷　徹
ルナ……小山茉美

東三千子……池田昌子
沢川淳子……潘　恵子
江田四郎……塩沢兼人

サラマンダー……内海賢二
ソニー……林　泰文
アサンシ……田中秀幸
ヨーギン……槐　柳二

タオ……原田知世

待従長……宮内幸平
アナウンサー……矢田耕司
オライリー署長……寺田　誠
文の幼年時代……恵比寿まさ子
黒人ギャング……塩屋　翼
〃……塩屋浩三
若い女A……加藤友子
〃B……青木典子
幻魔大王……佐藤正治

カフー……穂積隆信
ザンビ……永井一郎
ザメディ……滝口順平

フロイ……美輪明宏
女占星術師……白石加代子

ベガ……江守　徹

STAFF

■製作　角川春樹　石森章太郎
■原作　平井和正（角川文庫版）　石森章太郎
■監督　りん・たろう
■脚本　桂　千穂　内藤　誠　真崎　守
■キャラクターデザイン　大友克洋
■作画監督　野田卓雄
■美術監督　椋尾　篁
■美術　男鹿和雄　窪田忠雄
■撮影監督　八巻　磐

■音楽監督　キース・エマーソン
■音楽　青木　望
■プロデューサー　明田川　進
■制作担当　浅利義美
■主題歌　「光の天使」
作詩　トニー・アレン
作曲　キース・エマーソン
歌　ローズマリー・バトラー
制作　株式会社角川レコード
発売　株式会社キャニオン・レコード

■設定　丸山正雄　真崎　守
■原画　なかむらたかし　川尻善昭　大橋　学　松原京子　鍋島　修　新川信正　本木久年　大坂竹志　青島克巳　田辺由憲　大島城次　森本晃司　梅津泰臣　長崎重信　上條　修　青井清年　野田卓雄　大友克洋
■スペシャルアニメーション　金田伊功
■作画監督補佐　冨沢和雄
■動画チェック　青井清年　青山純子
■動画　渡辺明美　米山幸子　志田欣弘　保江　圓　加藤涼子　前田順子　小山善孝　細井章史　梅津美幸　藤本千珠　稲垣賢吾　斉藤久美子　坂野方子　松島明子　萱　登祥
西堀ひろみ　久保川美明　水野理加子　古宇田文男
アクト　悟空舎　タイガープロダクション　メルヘン社　マジックバス　進藤プロ　AIC　手塚プロダクション　草間アート　アニメトロトロ

■色指定　若井喜治
■仕上検査　松元恵美子　西表美智代
■仕上　佐藤孝二　久世千夏　柴山尚子　木村多智子　片田明美　佐野順子　窪田優子　勝沼まどか　工藤秀子　西山　誠
■仕上協力　オンリーフォアライフ
■特殊効果　谷藤薫児　橋爪朋二
■美術助手　河野尋美
■背景　ムクオスタジオ　本間　薫　橋爪冨紀子　鹿野良行　伊藤　豊　峯村るみ子　山下由美子　加藤　景
山川　晃　青木勝志　小倉宏昌　安藤ひろみ　清水一利　吉田陽子
■タイトルアニメーション　山田けいこ
■タイトル　熊谷幸雄
■撮影　アニメーションスタッフルーム

緒方プロダクション　ティ・ニシムラ　虫プロダクション　マッドハウス　東洋現像所C-CAM
■助監督　石崎すすむ
■編集　田中　修
■編集助手　阿部嘉乃
■ネガ編集　只野信也
■効果　佐々木英世　倉橋静男　柴崎憲治
■録音　辻井一郎〈アオイスタジオ〉
■現像　東洋現像所
■音楽録音スタジオ　キャニオン一口坂スタジオ　にっかつスタジオセンター　アオイスタジオ
■音楽録音　内藤栄一　上埜嘉雄　大野映彦
■音楽コーディネーター　石川　光
■技術協力　DOLBY STEREO IN SELECTED THEATRES　極東コンチネンタル㈱　森　幹生
■制作宣伝　広瀬和好
■制作進行　室永昭司　大武正弘　稲吉保宏　岩瀬安輝
■制作事務　木村愛弓　伊藤園子
■俳優事務　青二プロダクション　松本哲雄
■製作協力　㈱角川書店　プロジェクトチーム アルゴス　㈱マジックカプセル　㈲マッドハウス
■SPECIAL THANKS TO　大洋音楽株式会社　佐渡国鼓童　KORG 京王技研工業㈱　東洋音響

昭和58年3月11日印刷
昭和58年3月12日発行

発行所　東京都千代田区有楽町1—2—1　東宝・出版事業室
発行者　東京都千代田区有楽町1—2—1　大橋雄吉
© 発行権者　東京都千代田区麹町5—7　秀和紀尾井町TBR602　㈱角川春樹事務所
発行権代行　東京都中央区銀座2-6-4　プレイガイドビル内　㈱東和プロモーション
印刷所　東京都港区芝2—1—28　成旺印刷株式会社

定価　400円

東宝東和配給

東宝

HARMAGEDON